

<目次> 平成30年度 主要事業等実施の状況及び事務事業評価結果（一般会計）

10款（教育費）

款	項	目	事務事業名	頁
10	1	1	教育委員会運営事務	1
10	1	2	教育委員会事務局運営事務	2
10	1	2	学校支援地域本部事業	3
10	1	2	開かれた学校づくり事業	4
10	1	3	就学指導事業	5
10	1	3	外国語教育推進事業	6
10	1	3	教職員研修・研究等推進事業	7
10	1	3	教育課程管理事務	8
10	1	3	いじめ・不登校対策事業	9
10	1	3	学力向上事業	10
10	1	3	文化・体育活動振興事業	11
10	1	3	特別支援教育推進事業	12
10	1	4	教員住宅管理業務	13
10	1	5	通学自動車運行事業	14
10	1	5	その他教育総務事務	15
10	1	5	幼児教育推進事業	16
10	1	5	専門学校・大学による高等教育推進事業	17
10	1	5	高等学校教育推進事業	20
10	2	1	小学校管理業務	23
10	2	2	小学校教育振興事業	24
10	2	2	小学校就学援助事業	26
10	2	2	小学校情報化教育推進事業	27
10	3	1	中学校管理業務	28
10	3	2	中学校教育振興事業	29
10	3	2	中学校就学援助事業	30
10	3	2	中学校情報化教育推進事業	31
10	4	1	社会教育委員活動事務	32
10	4	2	各種講座・教室等実施事業	33
10	4	2	各種大学等実施事業	34
10	4	2	一般社会教育事務	35
10	4	2	成人式実施事業	36
10	4	2	家庭教育事業	37
10	4	2	異文化活動事務	38
10	4	2	学習活動情報提供事務	39
10	4	2	男女共同参画推進業務	40
10	4	3	青少年育成事業	41
10	4	3	青少年非行防止活動業務	43
10	4	3	青少年安全対策事務	44
10	4	4	芸術・文化活動業務	45
10	4	4	芸術文化交流館管理運営業務	46
10	4	5	スポーツ推進委員事務	47
10	4	5	スポーツ教室開設事業	48
10	4	5	健康都市宣言等事業	50
10	4	5	B&G海洋センター事業	51
10	4	5	各種体育団体助成事業	53

<目次> 平成30年度 主要事業等実施の状況及び事務事業評価結果（一般会計）

10款（教育費）

款	項	目	事務事業名	頁
10	4	5	各種スポーツ大会等招致	55
10	4	6	学校体育施設開放事業	56
10	4	6	各種社会体育施設管理運営業務	57
10	4	7	総合運動公園維持管理業務	58
10	4	8	市民会館・青年センター管理運営業務	60
10	4	8	社会教育施設有効活用業務	62
10	4	9	図書館管理運営業務	63
10	4	9	読書普及活動	64
10	4	9	視聴覚ライブラリー運営事務	68
10	4	10	星の降る里百年記念館管理運営業務	69
10	4	10	文化財保護事業	71
10	4	11	合宿振興事業	72
10	5	1	学校保健及び各種検診事業	74
10	5	1	体育振興事業	75
10	5	2	学校プール管理運営業務	76
10	5	3	学校給食事業	77
10	6	1	学校林管理運営事務	79

款	10 教育費	項	1 教育総務費	目	1 教育委員会費
事務事業名	教育委員会運営事務				
決算額(円)	財源内訳(円)				
2,791,020	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源
					2,791,020
事業目的	教育委員会の運営を適正、円滑に行う。				
事業内容及び成果	<p>教育委員会議を定期的に、又は必要に応じて開催するとともに、学校視察などを実施し、学校教育をはじめとした教育行政を推進するため、適切に教育委員会の運営を行った。</p> <p>(1) 定例教育委員会開催回数 12回</p> <p>(2) 学校視察等の延回数 28回</p>				

<事務事業評価結果>

1	市が実施する必要がある事務事業か	A 必要(2点) B どちらかといえば必要(1点) C 必要ではない(0点)	A	2点
2	重点事業との関連性	A 重点事業(2点) B 一般事業(1点)	B	1点
3	事務事業を休止・廃止した場合の影響は大きいのか	A 影響は大きい(2点) B 影響は小さい(1点) C 影響はない(0点)	A	2点
4	緊急性	A 緊急性は高い(2点) B 緊急性は低い(1点)	B	1点
5	他の事業との統合や民間委託等はないか	A 検討の余地はない(2点) B 検討の余地がある(1点) C 可能である(0点)	A	2点
6	コスト削減の余地	A 現状の手法しかない(2点) B 余地がある(1点)	A	2点
計		(10点以上=A、6~9点=B、5点以下=C)	A	10点
総合判定	<input checked="" type="checkbox"/> A 継続 <input type="checkbox"/> B 見直し <input type="checkbox"/> C 廃止・終了			

款	10 教育費	項	1 教育総務費	目	2 事務局費
事務事業名	教育委員会事務局運営事務				
決算額(円)	財 源 内 訳 (円)				
289,559	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源
					289,559
事業目的	教育委員会事務局の事務の効率化を図り、円滑な運営を目指す。				
事業内容及び成果	教育委員会議の開催や事務局事務のスムーズな執行に努め、効率的で円滑な運営を行った。				

<事務事業評価結果>

1	市が実施する必要がある事務事業か	A 必要 (2点) B どちらかといえば必要 (1点) C 必要ではない (0点)	A	2点
2	重点事業との関連性	A 重点事業 (2点) B 一般事業 (1点)	B	1点
3	事務事業を休止・廃止した場合の影響は大きいか	A 影響は大きい (2点) B 影響は小さい (1点) C 影響はない (0点)	A	2点
4	緊急性	A 緊急性は高い (2点) B 緊急性は低い (1点)	B	1点
5	他の事業との統合や民間委託等はできないか	A 検討の余地はない (2点) B 検討の余地がある (1点) C 可能である (0点)	A	2点
6	コスト削減の余地	A 現状の手法しかない (2点) B 余地がある (1点)	A	2点
計		(10点以上=A、6~9点=B、5点以下=C)	A	10点
総合判定	<input checked="" type="checkbox"/> A 継続 B 見直し C 廃止・終了			

款	10 教育費	項	1 教育総務費	目	2 事務局費																
事務事業名	学校支援地域本部事業																				
決算額(円)	財 源 内 訳 (円)																				
213,033	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源																
					213,033																
事業目的	<p>いじめや不登校など青少年を巡る諸問題の発生の背景に地域の教育力の低下があげられており、学校現場では、教員の業務量の増加から教師が子どもと向き合える時間の確保が求められている。このため、地域全体で学校教育を支援する「学校支援ボランティア」の取組を推進し、学校と地域の連携体制を構築し、教師が子どもと向き合える時間の拡充を図る。また、地域住民が自らの知識や経験を生かす場を広げ、生涯学習社会の実現や地域の教育力の向上を図る。</p>																				
事業内容及び成果	<p>学校が求める支援内容に対して、ボランティアを募集・登録（無償）し、学校の教育活動・学校行事等に対する支援を行った。</p> <p>学校支援ボランティア活動状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>団体の名称</th> <th>登録人数</th> <th>ボランティアの内容</th> <th>活動実施校</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>芦別スキー連盟</td> <td>9人</td> <td>スキーの指導</td> <td>芦別小学校 上芦別小学校</td> </tr> <tr> <td>芦別柔道連盟</td> <td>2人</td> <td>柔道の指導</td> <td>芦別中学校</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>11人</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					団体の名称	登録人数	ボランティアの内容	活動実施校	芦別スキー連盟	9人	スキーの指導	芦別小学校 上芦別小学校	芦別柔道連盟	2人	柔道の指導	芦別中学校	合 計	11人		
団体の名称	登録人数	ボランティアの内容	活動実施校																		
芦別スキー連盟	9人	スキーの指導	芦別小学校 上芦別小学校																		
芦別柔道連盟	2人	柔道の指導	芦別中学校																		
合 計	11人																				

< 事務事業評価結果 >

1	市が実施する必要がある事務事業か	A 必要 (2点) B どちらかといえば必要 (1点) C 必要ではない (0点)	A	2点
2	重点事業との関連性	A 重点事業 (2点) B 一般事業 (1点)	B	1点
3	事務事業を休止・廃止した場合の影響は大きいのか	A 影響は大きい (2点) B 影響は小さい (1点) C 影響はない (0点)	A	2点
4	緊急性	A 緊急性は高い (2点) B 緊急性は低い (1点)	B	1点
5	他の事業との統合や民間委託等はできないか	A 検討の余地はない (2点) B 検討の余地がある (1点) C 可能である (0点)	B	1点
6	コスト縮減の余地	A 現状の手法しかない (2点) B 余地がある (1点)	B	1点
計		(10点以上=A、6~9点=B、5点以下=C)	B	8点
総合判定	A 継続 B 見直し C 廃止・終了			
備考	引き続き学校支援ボランティアの活動を市民全体に周知するとともに、学校が求める支援内容にあったボランティアを積極的に募集し、地域の人材を活用できるように取り進めるとともに、学校運営協議会と連携した取組内容となるよう見直しを行う。			

款	10 教育費	項	1 教育総務費	目	2 事務局費
事務事業名	開かれた学校づくり事業				
決算額(円)	財 源 内 訳 (円)				
48,640	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源
					48,640
事業目的	<p>学校が家庭と連携・協力しながら、特色のある教育的活動を展開するとともに、学校評価の実施により学校の教育目標達成に向けて組織的・継続的な改善及び学校教育の質の保証・向上を図り、地域や社会に開かれた学校づくりを推進する。</p>				
事業内容及び成果	<p>中学校区を単位として、学校関係者評価委員（各5人）を配置し、教育活動の視察、意見交換等を通じ各校の評価を行うとともに、学校長の求めに応じ、助言、意見交換を行い、教育目標達成に向けた学校運営の改善を図った。</p>				

<事務事業評価結果>

1	市が実施する必要がある事務事業か	A 必要 (2点) B どちらかといえば必要 (1点) C 必要ではない (0点)	A	2点
2	重点事業との関連性	A 重点事業 (2点) B 一般事業 (1点)	A	2点
3	事務事業を休止・廃止した場合の影響は大きい	A 影響は大きい (2点) B 影響は小さい (1点) C 影響はない (0点)	A	2点
4	緊急性	A 緊急性は高い (2点) B 緊急性は低い (1点)	B	1点
5	他の事業との統合や民間委託等はできないか	A 検討の余地はない (2点) B 検討の余地がある (1点) C 可能である (0点)	B	1点
6	コスト削減の余地	A 現状の手法しかない (2点) B 余地がある (1点)	B	1点
計		(10点以上=A、6~9点=B、5点以下=C)	B	9点
総合判定	A 継続 B 見直し C 廃止・終了			
備考	平成31年4月から学校運営協議会が中学校区ごとに発足し、学校関係者評価委員会は学校運営協議会の評価部会として組織の一つとなるが、引き続き、評価の内容を学校経営や教育活動の改善に役立てるとともに、学校運営協議会委員が学校関係者の一人として学校運営の様々な場面に参加し、助言するなど活動を継続することにより、地域とともにある学校づくりを推進する。			

款	10 教育費	項	1 教育総務費	目	3 教育指導費
事務事業名	就学指導事業				
決算額(円)	財 源 内 訳 (円)				
40,555	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源
					40,555
事業目的	児童生徒一人ひとりの教育的ニーズに応じた教育的支援を適切に行い、人間性豊かな児童生徒の育成を図る。				
事業内容及び成果	芦別市教育支援委員会の開催（6回）				

<事務事業評価結果>

1	市が実施する必要がある事務事業か	A 必要 (2点) B どちらかといえば必要 (1点) C 必要ではない (0点)	A	2点
2	重点事業との関連性	A 重点事業 (2点) B 一般事業 (1点)	B	1点
3	事務事業を休止・廃止した場合の影響は大きいのか	A 影響は大きい (2点) B 影響は小さい (1点) C 影響はない (0点)	A	2点
4	緊急性	A 緊急性は高い (2点) B 緊急性は低い (1点)	B	1点
5	他の事業との統合や民間委託等はできないか	A 検討の余地はない (2点) B 検討の余地がある (1点) C 可能である (0点)	A	2点
6	コスト削減の余地	A 現状の手法しかない (2点) B 余地がある (1点)	A	2点
計		(10点以上=A、6~9点=B、5点以下=C)	A	10点
総合判定	<input checked="" type="checkbox"/> A 継続 B 見直し C 廃止・終了			

款	10 教育費	項	1 教育総務費	目	3 教育指導費
事務事業名	外国語教育推進事業				
決算額(円)	財源内訳(円)				
8,100,000	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源
					8,100,000
事業目的	<p>外国語(英語)を通じて、言語や文化についての理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図るとともに、他国の生活や文化などを体験・調査するなどの学習活動を行うことにより、国際理解や国際交流を推進し、その充実を図ることを目的とする。</p>				
事業内容及び成果	<p>英語指導助手(ALT)2人を小学校及び中学校に1人ずつ配置し、授業の協力者として学級(教科)担任を補助したほか、ALTと英語を話し合うことにより基礎的なコミュニケーション能力の向上などの効果が生まれた。</p>				

<事務事業評価結果>

1	市が実施する必要がある事務事業か	A 必要(2点) B どちらかといえば必要(1点) C 必要ではない(0点)	A	2点
2	重点事業との関連性	A 重点事業(2点) B 一般事業(1点)	B	1点
3	事務事業を休止・廃止した場合の影響は大きい	A 影響は大きい(2点) B 影響は小さい(1点) C 影響はない(0点)	A	2点
4	緊急性	A 緊急性は高い(2点) B 緊急性は低い(1点)	B	1点
5	他の事業との統合や民間委託等はできないか	A 検討の余地はない(2点) B 検討の余地がある(1点) C 可能である(0点)	A	2点
6	コスト削減の余地	A 現状の手法しかない(2点) B 余地がある(1点)	A	2点
計		(10点以上=A、6~9点=B、5点以下=C)	A	10点
総合判定	<input checked="" type="checkbox"/> A 継続 <input type="checkbox"/> B 見直し <input type="checkbox"/> C 廃止・終了			

款	10 教育費	項	1 教育総務費	目	3 教育指導費
事務事業名	教職員研修・研究等推進事業				
決算額(円)	財 源 内 訳 (円)				
907,049	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源
					907,049
事業目的	教師としての指導力と資質の向上に結びつく研修・研究等の充実を図ることを目的とする。				
事業内容及び成果	学校及び教育振興会等各種教育諸団体における研修体制と事業の実施を支援した。				

<事務事業評価結果>

1	市が実施する必要がある事務事業か	A 必要 (2点) B どちらかといえば必要 (1点) C 必要ではない (0点)	A	2点
2	重点事業との関連性	A 重点事業 (2点) B 一般事業 (1点)	A	2点
3	事務事業を休止・廃止した場合の影響は大きいか	A 影響は大きい (2点) B 影響は小さい (1点) C 影響はない (0点)	A	2点
4	緊急性	A 緊急性は高い (2点) B 緊急性は低い (1点)	A	2点
5	他の事業との統合や民間委託等はできないか	A 検討の余地はない (2点) B 検討の余地がある (1点) C 可能である (0点)	A	2点
6	コスト縮減の余地	A 現状の手法しかない (2点) B 余地がある (1点)	B	1点
計		(10点以上=A、6~9点=B、5点以下=C)	A	11点
総合判定	<input checked="" type="checkbox"/> A 継続 B 見直し C 廃止・終了			

款	10 教育費	項	1 教育総務費	目	3 教育指導費
事務事業名	教育課程管理事務				
決算額(円)	財源内訳(円)				
5,740	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源
					5,740
事業目的	学校における教育課程、学習指導その他学校教育に関する専門的事項の指導、助言等を行う。				
事業内容及び成果	地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき、市町村教育委員会に指導主事・その他の職員を配置しなければならないことから、「学校教育専任指導員」を1人配置し、各小中学校における教育課程の管理を行った。				

<事務事業評価結果>

1	市が実施する必要がある事務事業か	A 必要 (2点) B どちらかといえば必要 (1点) C 必要ではない (0点)	A	2点
2	重点事業との関連性	A 重点事業 (2点) B 一般事業 (1点)	B	1点
3	事務事業を休止・廃止した場合の影響は大きい	A 影響は大きい (2点) B 影響は小さい (1点) C 影響はない (0点)	A	2点
4	緊急性	A 緊急性は高い (2点) B 緊急性は低い (1点)	B	1点
5	他の事業との統合や民間委託等はできないか	A 検討の余地はない (2点) B 検討の余地がある (1点) C 可能である (0点)	A	2点
6	コスト削減の余地	A 現状の手法しかない (2点) B 余地がある (1点)	A	2点
計		(10点以上=A、6~9点=B、5点以下=C)	A	10点
総合判定	<input checked="" type="checkbox"/> A 継続 <input type="checkbox"/> B 見直し <input type="checkbox"/> C 廃止・終了			

款	10 教育費	項	1 教育総務費	目	3 教育指導費
事務事業名	いじめ・不登校対策事業				
決算額(円)	財 源 内 訳 (円)				
243,704	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源
					243,704
事業目的	不登校及びいじめ等の心の問題を解決するため、心の触れ合いを大切にし、一人ひとりの児童生徒の個性の伸長を図りつつ、社会的な資質や能力・態度と自己指導能力を育成し、生徒指導の充実を図ることを目的とする。				
事業内容及び成果	<p>1 教育委員会の組織として、「適応指導教室」を設置し、学校に行くことができない児童生徒を受け入れ、専任指導員の指導の下に個別活動、集団活動、体験活動等を行うことによって、学習習慣とコミュニケーション能力を身につけ、対人関係の改善を図った。</p> <p>2 学校における生徒指導校内委員会などの問題行動に対応する組織体制の機能を充実させるための指導、助言を行った。</p> <p>3 関係機関（家庭児童相談員・児童相談所等）との連携を図り、問題行動の解決に当たった。</p> <p>4 スクールカウンセラーを1人配置（道事業）し、教育相談体制を充実させ、問題行動の解決に当たった。</p> <p>5 適応指導教室専任指導員の配置 1人</p> <p>6 芦別市いじめ問題対策連絡協議会の設置 委員13人 2回開催（7月・3月）</p> <p>7 各種事業の開催・参加</p> <p>(1) どさんこ☆子ども全道サミット参加 平成30年11月3日(土)・滝川市・児童生徒8人</p> <p>(2) 芦別市仲間づくり「子ども会議」開催 平成30年12月20日(木)・芦別市・児童生徒15人</p>				

<事務事業評価結果>

1	市が実施する必要がある事務事業か	A 必要(2点) B どちらかといえば必要(1点) C 必要ではない(0点)	A	2点
2	重点事業との関連性	A 重点事業(2点) B 一般事業(1点)	B	1点
3	事務事業を休止・廃止した場合の影響は大きい	A 影響は大きい(2点) B 影響は小さい(1点) C 影響はない(0点)	A	2点
4	緊急性	A 緊急性は高い(2点) B 緊急性は低い(1点)	A	2点
5	他の事業との統合や民間委託等ができないか	A 検討の余地はない(2点) B 検討の余地がある(1点) C 可能である(0点)	A	2点
6	コスト縮減の余地	A 現状の手法しかない(2点) B 余地がある(1点)	A	2点
計		(10点以上=A、6~9点=B、5点以下=C)	A	11点
総合判定	<input checked="" type="checkbox"/> A 継続 <input type="checkbox"/> B 見直し <input type="checkbox"/> C 廃止・終了			

款	10 教育費	項	1 教育総務費	目	3 教育指導費
事務事業名	学力向上事業				
決算額(円)	財源内訳(円)				
10,732,818	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源
			4,400,000		6,332,818
事業目的	<p>次代を担う子どもたちのために、創意に満ちた調和と統一のある教育課程を編成し、児童生徒に基礎的・基本的な学力の定着を図り、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等を身に付けさせる。</p>				
事業内容及び成果	<ol style="list-style-type: none"> 1 全国学力・学習状況調査及び市内統一学力テスト（CRT）を実施した。 2 基礎的・基本的な学力を身に付けるため、家庭学習の習慣化を進めることが必要なことから、家庭学習用ドリルワークを購入し児童生徒に配布した。 3 芦別小学校・上芦別小学校・啓成中学校それぞれに学習サポート教員を1人配置し、TT（チームティーチング）指導等による基礎基本の定着に必要なきめ細やかで質の高い学習環境の確保を図った。 4 読む力・考える力などを付けるため、新聞を活用した授業・校内掲示などを実施した。 5 小中学校の教員及び学校教育専任指導員が、学力上位県である秋田県の小・中学校の視察を行い、学力の向上を図るため、その成果を教職員に還元した。 				

<事務事業評価結果>

1	市が実施する必要がある事務事業か	A 必要(2点) B どちらかといえば必要(1点) C 必要ではない(0点)	A	2点
2	重点事業との関連性	A 重点事業(2点) B 一般事業(1点)	A	2点
3	事務事業を休止・廃止した場合の影響は大きい	A 影響は大きい(2点) B 影響は小さい(1点) C 影響はない(0点)	A	2点
4	緊急性	A 緊急性は高い(2点) B 緊急性は低い(1点)	A	2点
5	他の事業との統合や民間委託等はできないか	A 検討の余地はない(2点) B 検討の余地がある(1点) C 可能である(0点)	A	2点
6	コスト削減の余地	A 現状の手法しかない(2点) B 余地がある(1点)	B	1点
計		(10点以上=A、6~9点=B、5点以下=C)	A	11点
総合判定	<input checked="" type="checkbox"/> A 継続 <input type="checkbox"/> B 見直し <input type="checkbox"/> C 廃止・終了			

款	10 教育費	項	1 教育総務費	目	3 教育指導費															
事務事業名	文化・体育活動振興事業																			
決算額(円)	財源内訳(円)																			
945,074	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源															
					945,074															
事業目的	児童生徒の健康増進と体力の向上及び芸術に対する造詣を深め、自主性・協調性・責任感・連帯感などを育成し、他校との親睦を図る。																			
事業内容及び成果	1 児童生徒の文化・体育振興行事開催を、教育振興会に委託し、実施した。 2 児童等対外競技、中体連体育大会及び児童又は生徒の文化行事について、必要な経費を補助した。 3 児童生徒教育振興行事開催委託料																			
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>参加校</th> <th>参加人員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>絵画書道展</td> <td>4校</td> <td>286人</td> </tr> <tr> <td>音楽発表会</td> <td>4校</td> <td>185人</td> </tr> <tr> <td>鑑賞会</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>新体力テスト記録会</td> <td>2校</td> <td>141人</td> </tr> </tbody> </table>					区分	参加校	参加人員	絵画書道展	4校	286人	音楽発表会	4校	185人	鑑賞会			新体力テスト記録会	2校	141人
区分	参加校	参加人員																		
絵画書道展	4校	286人																		
音楽発表会	4校	185人																		
鑑賞会																				
新体力テスト記録会	2校	141人																		
	※ 鑑賞会については、鑑賞会の当日に発生した地震の影響で全市的に停電となったため、中止とした。																			

<事務事業評価結果>

1	市が実施する必要がある事務事業か	A 必要(2点) B どちらかといえば必要(1点) C 必要ではない(0点)	A	2点
2	重点事業との関連性	A 重点事業(2点) B 一般事業(1点)	B	1点
3	事務事業を休止・廃止した場合の影響は大きい	A 影響は大きい(2点) B 影響は小さい(1点) C 影響はない(0点)	A	2点
4	緊急性	A 緊急性は高い(2点) B 緊急性は低い(1点)	B	1点
5	他の事業との統合や民間委託等はないか	A 検討の余地はない(2点) B 検討の余地がある(1点) C 可能である(0点)	A	2点
6	コスト削減の余地	A 現状の手法しかない(2点) B 余地がある(1点)	B	1点
計		(10点以上=A、6~9点=B、5点以下=C)	B	9点
総合判定	A 継続 B 見直し C 廃止・終了			
備考	これまでの実施状況や反省点を踏まえて事業内容を検討する。特に、中学校部活動に対する対外競技出場補助については、補助率のかさ上げについての見直しを検討する。			

款	10 教育費	項	1 教育総務費	目	3 教育指導費
事務事業名	特別支援教育推進事業				
決算額(円)	財 源 内 訳 (円)				
17,472,176	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源
			8,700,000		8,772,176
事業目的	LD、ADHD、高機能自閉症等の障がい及び学習面につまずきのある児童生徒に対して、その一人ひとりの教育的ニーズを把握し、当該児童生徒の持てる力を高め、生活や学習上の困難を改善又は克服するために、適切な教育を通じて個々の特性に応じた必要な支援を行う。				
事業内容及び成果	<p>1 通常学級における困り感・つまずき感のある児童生徒の個性に応じたきめ細やかな支援を行うために、小中学校4校に学習支援員をそれぞれ1人ずつ配置した。</p> <p>2 特別支援学級に在籍している児童生徒については、保護者から同意を得て「個別の教育支援計画」を作成し、関係機関と連携を図りながら児童生徒への支援を行った。</p> <p>3 通常学級において特別な支援を要する児童生徒が増えていることに加え、保護者のニーズが高いことから、平成30年度より芦別小学校に新たに通級指導教室を開設し、言語障害、学習障害など児童の障がいの特性に応じた個別の支援を行った。</p>				

<事務事業評価結果>

1	市が実施する必要がある事務事業か	A 必要 (2点) B どちらかといえば必要 (1点) C 必要ではない (0点)	A	2点
2	重点事業との関連性	A 重点事業 (2点) B 一般事業 (1点)	A	2点
3	事務事業を休止・廃止した場合の影響は大きい	A 影響は大きい (2点) B 影響は小さい (1点) C 影響はない (0点)	A	2点
4	緊急性	A 緊急性は高い (2点) B 緊急性は低い (1点)	A	2点
5	他の事業との統合や民間委託等はないか	A 検討の余地はない (2点) B 検討の余地がある (1点) C 可能である (0点)	A	2点
6	コスト削減の余地	A 現状の手法しかない (2点) B 余地がある (1点)	A	2点
計		(10点以上=A、6~9点=B、5点以下=C)	A	12点
総合判定	<input checked="" type="checkbox"/> A 継続 <input type="checkbox"/> B 見直し <input type="checkbox"/> C 廃止・終了			

款	10 教育費	項	1 教育総務費	目	4 教員住宅管理費						
事務事業名	教員住宅管理業務										
決算額(円)	財 源 内 訳 (円)										
2,448,137	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源						
				2,448,137	0						
事業目的	教員住宅の適正な管理を行い、住宅の耐用年数延長及び居住の快適性を維持する。										
事業内容及び成果	<p>1 教員住宅の管理を行った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>管理戸数</th> <th>入居戸数</th> <th>入居率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>16戸</td> <td>12戸</td> <td>75%</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 教員住宅修繕</p> <p>2階建住宅ベランダ修繕 4戸 1,358,640円</p> <p>その他小破修繕 延26件 1,089,497円</p>					管理戸数	入居戸数	入居率	16戸	12戸	75%
管理戸数	入居戸数	入居率									
16戸	12戸	75%									

<事務事業評価結果>

1	市が実施する必要がある事務事業か	A 必要(2点) B どちらかといえば必要(1点) C 必要ではない(0点)	A	2点
2	重点事業との関連性	A 重点事業(2点) B 一般事業(1点)	B	1点
3	事務事業を休止・廃止した場合の影響は大きいか	A 影響は大きい(2点) B 影響は小さい(1点) C 影響はない(0点)	A	2点
4	緊急性	A 緊急性は高い(2点) B 緊急性は低い(1点)	A	2点
5	他の事業との統合や民間委託等はできないか	A 検討の余地はない(2点) B 検討の余地がある(1点) C 可能である(0点)	B	1点
6	コスト削減の余地	A 現状の手法しかない(2点) B 余地がある(1点)	A	2点
計		(10点以上=A、6~9点=B、5点以下=C)	A	10点
総合判定	<input checked="" type="checkbox"/> A 継続 <input type="checkbox"/> B 見直し <input type="checkbox"/> C 廃止・終了			

款	10 教育費	項	1 教育総務費	目	5 諸費																								
事務事業名	通学自動車運行事業																												
決算額(円)	財源内訳(円)																												
15,759,225	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源																								
					15,759,225																								
事業目的	<p>小中学校の統合に伴う児童生徒及び徒歩による通学が困難な地域に居住する児童生徒の通学手段を確保する。また、学校行事等のために通学時以外にスクールバスを運行することにより、学校教育の円滑な実施に資する。</p>																												
事業内容及び成果	<p>小中学校の統合に伴い、通学校が変更となった児童生徒に対しては、市で購入したスクールバスを業者へ貸与し運行を委託するとともに、学校行事等のための通学時以外の運行は、スクールバスの委託業者と別途委託契約を締結し、円滑に事業が遂行された。</p> <p>(1) スクールバスの運行业務委託</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>路線名</th> <th>委託料(年額)</th> <th>対象校</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>常磐線</td> <td>2,656,800円</td> <td>芦別小、芦別中</td> </tr> <tr> <td>新城線</td> <td>2,916,000円</td> <td>芦別小、芦別中</td> </tr> <tr> <td>野花南北線</td> <td>2,496,597円</td> <td>上芦別小、啓成中</td> </tr> <tr> <td>野花南南線</td> <td>3,720,231円</td> <td>上芦別小、啓成中</td> </tr> <tr> <td>西芦別線</td> <td>3,024,000円</td> <td>上芦別小、啓成中</td> </tr> <tr> <td>通学時以外</td> <td>780,597円</td> <td>全小中学校</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>15,594,225円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 自動車借上 市の車両・スクールバスで対応不可である学校行事に対してバスを借上げた。 1回 1台 165,000円</p>					路線名	委託料(年額)	対象校	常磐線	2,656,800円	芦別小、芦別中	新城線	2,916,000円	芦別小、芦別中	野花南北線	2,496,597円	上芦別小、啓成中	野花南南線	3,720,231円	上芦別小、啓成中	西芦別線	3,024,000円	上芦別小、啓成中	通学時以外	780,597円	全小中学校	合計	15,594,225円	
路線名	委託料(年額)	対象校																											
常磐線	2,656,800円	芦別小、芦別中																											
新城線	2,916,000円	芦別小、芦別中																											
野花南北線	2,496,597円	上芦別小、啓成中																											
野花南南線	3,720,231円	上芦別小、啓成中																											
西芦別線	3,024,000円	上芦別小、啓成中																											
通学時以外	780,597円	全小中学校																											
合計	15,594,225円																												

<事務事業評価結果>

1	市が実施する必要がある事務事業か	A 必要(2点) B どちらかといえば必要(1点) C 必要ではない(0点)	A	2点
2	重点事業との関連性	A 重点事業(2点) B 一般事業(1点)	B	1点
3	事務事業を休止・廃止した場合の影響は大きい	A 影響は大きい(2点) B 影響は小さい(1点) C 影響はない(0点)	A	2点
4	緊急性	A 緊急性は高い(2点) B 緊急性は低い(1点)	A	2点
5	他の事業との統合や民間委託等はできないか	A 検討の余地はない(2点) B 検討の余地がある(1点) C 可能である(0点)	A	2点
6	コスト削減の余地	A 現状の手法しかない(2点) B 余地がある(1点)	B	1点
計		(10点以上=A、6~9点=B、5点以下=C)	A	10点
総合判定	<input checked="" type="checkbox"/> A 継続 <input type="checkbox"/> B 見直し <input type="checkbox"/> C 廃止・終了			

款	10 教育費	項	1 教育総務費	目	5 諸費
事務事業名	その他教育総務事務				
決算額(円)	財源内訳(円)				
1,000	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源
					1,000
事業目的	本市の教育施設整備の際に必要なとなる北海道公立文教施設整備期成会に対する負担金を支出する。				
事業内容及び成果	負担金 1,000円				

<事務事業評価結果>

1	市が実施する必要がある事務事業か	A 必要(2点) B どちらかといえば必要(1点) C 必要ではない(0点)	A	2点
2	重点事業との関連性	A 重点事業(2点) B 一般事業(1点)	B	1点
3	事務事業を休止・廃止した場合の影響は大きい	A 影響は大きい(2点) B 影響は小さい(1点) C 影響はない(0点)	A	2点
4	緊急性	A 緊急性は高い(2点) B 緊急性は低い(1点)	B	1点
5	他の事業との統合や民間委託等はないか	A 検討の余地はない(2点) B 検討の余地がある(1点) C 可能である(0点)	A	2点
6	コスト削減の余地	A 現状の手法しかない(2点) B 余地がある(1点)	A	2点
計		(10点以上=A、6~9点=B、5点以下=C)	A	10点
総合判定	<input checked="" type="checkbox"/> A 継続 <input type="checkbox"/> B 見直し <input type="checkbox"/> C 廃止・終了			

款	10 教育費	項	1 教育総務費	目	5 諸費																				
事務事業名	幼児教育推進事業																								
決算額(円)	財源内訳(円)																								
222,000	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源																				
			200,000		22,000																				
事業目的	健やかで心豊かな子どもを育む幼稚園教育に必要な運営及び教育環境の整備、並びに幼稚園児保護者の経済的負担の軽減を図る。																								
事業内容及び成果	<p>1 私立幼稚園に運営補助金を交付した。</p> <p>私立学校運営費補助</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">住所区分 園名</th> <th colspan="2">市内</th> <th colspan="2">市外</th> <th colspan="2">合計</th> </tr> <tr> <th>人数</th> <th>助成額 (2,000円/人)</th> <th>人数</th> <th>助成額 (1,000円/人)</th> <th>人数</th> <th>助成額 合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>芦別みどり幼稚園</td> <td>111人</td> <td>222,000円</td> <td>0人</td> <td>0円</td> <td>111人</td> <td>222,000円</td> </tr> </tbody> </table>					住所区分 園名	市内		市外		合計		人数	助成額 (2,000円/人)	人数	助成額 (1,000円/人)	人数	助成額 合計	芦別みどり幼稚園	111人	222,000円	0人	0円	111人	222,000円
住所区分 園名	市内		市外		合計																				
	人数	助成額 (2,000円/人)	人数	助成額 (1,000円/人)	人数	助成額 合計																			
芦別みどり幼稚園	111人	222,000円	0人	0円	111人	222,000円																			

<事務事業評価結果>

1	市が実施する必要がある事務事業か	A 必要 (2点) B どちらかといえば必要 (1点) C 必要ではない (0点)	A	2点			
2	重点事業との関連性	A 重点事業 (2点) B 一般事業 (1点)	B	1点			
3	事務事業を休止・廃止した場合の影響は大きいか	A 影響は大きい (2点) B 影響は小さい (1点) C 影響はない (0点)	A	2点			
4	緊急性	A 緊急性は高い (2点) B 緊急性は低い (1点)	B	1点			
5	他の事業との統合や民間委託等はないか	A 検討の余地はない (2点) B 検討の余地がある (1点) C 可能である (0点)	A	2点			
6	コスト削減の余地	A 現状の手法しかない (2点) B 余地がある (1点)	A	2点			
計		(10点以上=A、6~9点=B、5点以下=C)	A	10点			
総合判定	<table style="width:100%; text-align:center;"> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">A 継続</td> <td style="padding: 2px;">B 見直し</td> <td style="padding: 2px;">C 廃止・終了</td> </tr> </table>				A 継続	B 見直し	C 廃止・終了
A 継続	B 見直し	C 廃止・終了					

款	10 教育費	項	1 教育総務費	目	5 諸費																																								
事務事業名	専門学校・大学による高等教育推進事業																																												
決算額(円)	財 源 内 訳 (円)																																												
18,716,436	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源																																								
			300,000	2,296,000	16,120,436																																								
事業目的	<p>1 私立学校の振興発展及び教育の充実に資する。</p> <p>2 専門学校等への修学が困難な者に対して、修学を奨励し、職業に必要な能力を育成する。</p>																																												
事業内容及び成果	<p>市内専門学校への修学が困難な者に対する奨学金の貸付を行った。</p> <p>また、市内私立学校への運営補助、及び市内私立学校入学生の保護者へ修学奨励金を交付した。</p> <p>(1) 専修学校奨学金貸与状況</p> <p>① 貸与件数 18件</p> <p>② 貸与金額 12,000,000円</p> <p>(内訳) 新規分 月額60,000円×12月×11人=7,920,000円 月額60,000円×7月×2人=840,000円 月額30,000円×12月×1人=360,000円 継続分 月額60,000円×12月×4人=2,880,000円</p> <p>③ 滞納徴収にかかる普通旅費 25,900円</p> <p>(2) 私立学校運営費補助内訳</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">住所区分 学校名</th> <th colspan="2">市 内</th> <th colspan="2">市 外</th> <th colspan="2">合 計 A</th> </tr> <tr> <th>人数</th> <th>助成額 (10,000円/人)</th> <th>人数</th> <th>助成額 (1,000円/人)</th> <th>人数</th> <th>助成額 合 計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>専門学校北日本自動車大学校</td> <td>19人</td> <td>190,000円</td> <td>8人</td> <td>8,000円</td> <td>27人</td> <td>198,000円</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">住所区分 学校名</th> <th colspan="2">市 内</th> <th colspan="2">市 外</th> <th colspan="2">合 計 B</th> </tr> <tr> <th>人数</th> <th>助成額 (10,000円/人)</th> <th>人数</th> <th>助成額(a) (500円/人)</th> <th>人数</th> <th>助成額 合 計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>星槎大学</td> <td>9人</td> <td>90,000円</td> <td>25人</td> <td>12,500円</td> <td>34人</td> <td>102,500円</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 助成額(a)は、市内に住所を有しない生徒であって、スクーリングのため来校する生徒</p> <p>交付額合計 (A+B) = 300,500円</p>					住所区分 学校名	市 内		市 外		合 計 A		人数	助成額 (10,000円/人)	人数	助成額 (1,000円/人)	人数	助成額 合 計	専門学校北日本自動車大学校	19人	190,000円	8人	8,000円	27人	198,000円	住所区分 学校名	市 内		市 外		合 計 B		人数	助成額 (10,000円/人)	人数	助成額(a) (500円/人)	人数	助成額 合 計	星槎大学	9人	90,000円	25人	12,500円	34人	102,500円
住所区分 学校名	市 内		市 外		合 計 A																																								
	人数	助成額 (10,000円/人)	人数	助成額 (1,000円/人)	人数	助成額 合 計																																							
専門学校北日本自動車大学校	19人	190,000円	8人	8,000円	27人	198,000円																																							
住所区分 学校名	市 内		市 外		合 計 B																																								
	人数	助成額 (10,000円/人)	人数	助成額(a) (500円/人)	人数	助成額 合 計																																							
星槎大学	9人	90,000円	25人	12,500円	34人	102,500円																																							

次項へ続く

(3) 修学奨励金交付内訳

学校名	区 分	人 数	助成額 A (300,000円/人)
専門学校北日本自動車大学校		17人	5,100,000円

学校名	住所区分	市 内		市 外		合 計 B	
		人数	助 成 額 (10,000円/人)	人数	助 成 額 (5,000円/人)	人数	助 成 額 合 計
星槎大学		0人	0円	0人	0円	0人	0円

交付額合計 (A+B) = 5,100,000円

(4) 学生確保対策補助金

学校名	区分	入寮費 (10,000円/人)	部屋代 (5,000円×12ヶ月/人)	合 計
専門学校北日本自動車大学校		10人 100,000円	13人 700,000円	800,000円

(5) 通学費補助金

学校名	住所	芦別市	滝川市	砂川市	富良野市	合 計
専門学校北日本自動車大学校		1人 44,992円	2人 267,680円	2人 43,920円	1人 133,444円	6人 490,036円

(6) 入学生の状況 (各年度5月1日現在)

① 専門学校北日本自動車大学校

区 分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
市 内	12人	15人	10人	13人	17人	10人	8人	14人
市 外	5人	8人	2人	1人	1人	9人	1人	5人
道 外	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
計	17人	23人	12人	14人	18人	19人	9人	19人

② 星槎大学芦別キャンパス

区 分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
市 内	1人	0人	1人	0人	1人	0人	0人	0人
市 外	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
道 外	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
計	1人	0人	1人	0人	1人	0人	0人	0人

次項へ続く

<事務事業評価結果>

1	市が実施する必要がある事務事業か	A 必要 (2点) B どちらかといえば必要 (1点) C 必要ではない (0点)	A	2点
2	重点事業との関連性	A 重点事業 (2点) B 一般事業 (1点)	B	1点
3	事務事業を休止・廃止した場合の影響は大きいか	A 影響は大きい (2点) B 影響は小さい (1点) C 影響はない (0点)	A	2点
4	緊急性	A 緊急性は高い (2点) B 緊急性は低い (1点)	B	1点
5	他の事業との統合や民間委託等ができないか	A 検討の余地はない (2点) B 検討の余地がある (1点) C 可能である (0点)	A	2点
6	コスト削減の余地	A 現状の手法しかない (2点) B 余地がある (1点)	A	2点
計		(10点以上=A、6~9点=B、5点以下=C)	A	10点
総合判定	<input checked="" type="checkbox"/> A 継続 <input type="checkbox"/> B 見直し <input type="checkbox"/> C 廃止・終了			

款	10 教育費	項	1 教育総務費	目	5 諸費																																																																										
事務事業名	高等学校教育推進事業																																																																														
決算額(円)	財源内訳(円)																																																																														
23,321,743	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源																																																																										
			13,400,000		9,921,743																																																																										
事業目的	高等学校の振興発展及び教育の充実に資する。																																																																														
事業内容及び成果	<p>1 私立学校の運営補助、及び修学者またはその保護者に対して助成を行った。</p> <p>(1) 私立学校運営費補助内訳</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">住所区分 学校名</th> <th colspan="2">市内</th> <th colspan="3">市外</th> <th colspan="2">合計</th> </tr> <tr> <th>人数</th> <th>助成額 (10,000円/人)</th> <th>人数</th> <th>助成額(a) (1,000円/人)</th> <th>人数</th> <th>助成額(b) (500円/人)</th> <th>人数</th> <th>助成額 合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>星槎国際高等学校</td> <td>8人</td> <td>80,000円</td> <td>32人</td> <td>32,000円</td> <td>832人</td> <td>416,000円</td> <td>872人</td> <td>528,000円</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 助成額(a)は、市内に住所を有しない生徒 2 助成額(b)は、市内に住所を有しない生徒(助成額(a)に該当する者を除く。)であって、スクーリングのため来校する生徒</p> <p>(2) 修学奨励金交付内訳</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分 学校名</th> <th>助成額 (30,000円/人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>星槎国際高等学校</td> <td>17人 510,000円</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 入学生の状況(各年度5月1日現在) 星槎国際高等学校本部長</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成23年度</th> <th>平成24年度</th> <th>平成25年度</th> <th>平成26年度</th> <th>平成27年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市内</td> <td>4人</td> <td>1人</td> <td>3人</td> <td>3人</td> <td>1人</td> <td>1人</td> <td>4人</td> <td>3人</td> </tr> <tr> <td>市外</td> <td>10人</td> <td>5人</td> <td>17人</td> <td>17人</td> <td>13人</td> <td>8人</td> <td>4人</td> <td>9人</td> </tr> <tr> <td>道外</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>14人</td> <td>6人</td> <td>20人</td> <td>20人</td> <td>14人</td> <td>9人</td> <td>8人</td> <td>12人</td> </tr> </tbody> </table>					住所区分 学校名	市内		市外			合計		人数	助成額 (10,000円/人)	人数	助成額(a) (1,000円/人)	人数	助成額(b) (500円/人)	人数	助成額 合計	星槎国際高等学校	8人	80,000円	32人	32,000円	832人	416,000円	872人	528,000円	区分 学校名	助成額 (30,000円/人)	星槎国際高等学校	17人 510,000円	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	市内	4人	1人	3人	3人	1人	1人	4人	3人	市外	10人	5人	17人	17人	13人	8人	4人	9人	道外	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	計	14人	6人	20人	20人	14人	9人	8人	12人
住所区分 学校名	市内		市外				合計																																																																								
	人数	助成額 (10,000円/人)	人数	助成額(a) (1,000円/人)	人数	助成額(b) (500円/人)	人数	助成額 合計																																																																							
星槎国際高等学校	8人	80,000円	32人	32,000円	832人	416,000円	872人	528,000円																																																																							
区分 学校名	助成額 (30,000円/人)																																																																														
星槎国際高等学校	17人 510,000円																																																																														
区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度																																																																							
市内	4人	1人	3人	3人	1人	1人	4人	3人																																																																							
市外	10人	5人	17人	17人	13人	8人	4人	9人																																																																							
道外	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人																																																																							
計	14人	6人	20人	20人	14人	9人	8人	12人																																																																							

次項へ続く

2 芦別高校に在学する生徒の保護者に対して、通学費及び検定試験等受験料の助成を行った。

(1) 通学費助成の内訳

住所 \ 学年	1 年生	2 年生	3 年生	合 計
芦別市	4 人 571,920円	1 人 89,250 円	2 人 306,320円	7 人 967,490円
赤平市	32 人 5,167,000 円	31 人 5,342,870円	26 人 3,513,733円	89 人 14,023,603円
歌志内市	1 人 103,200円	4 人 947,630円	1 人 143,520円	6 人 1,194,350円
滝川市	3 人 272,940 円	8 人 974,080円	3 人 345,850円	14 人 1,592,870円
合 計	40 人 6,115,060円	44 人 7,353,830円	32 人 4,309,423円	116 人 17,778,313円

(2) 検定試験等受験料助成の内訳

種別 \ 学年	1 年生	2 年生	3 年生	合 計
各種検定等	延 28 人 38,300 円	延 45 人 44,380 円	延 20 人 30,400 円	延 93 人 113,080 円
模擬試験	延 19 人 31,000 円	延 28 人 65,170 円	延 103 人 269,780 円	延 150 人 365,950 円
合 計	実人員 26 人 延 47 人 69,300円	実人員 29 人 延 73 人 109,550円	実人員 40 人 延 123 人 300,180円	実人員 95 人 延 243 人 479,030円

3 芦別高校に在学する生徒が大学へ進学するための活動支援として補助金を交付した。

北海道芦別高等学校学力向上等支援事業費補助金

事 業 名	参加人数	補助金額
予備校夏期講習体験	10人	504,000円
カタリ場イン芦別高校開催	102人	196,000円
合 計	112人	700,000円

4 芦別高校に在学する生徒がグローバル社会に対応できるよう、外国語教育の充実を図るため、英語指導助手を派遣した。

英語指導助手等業務委託 英語指導助手 1人/週2回 3,326,400円

次項へ続く

<事務事業評価結果>

1	市が実施する必要がある事務事業か	A 必要 (2点) B どちらかといえば必要 (1点) C 必要ではない (0点)	A	2点
2	重点事業との関連性	A 重点事業 (2点) B 一般事業 (1点)	A	2点
3	事務事業を休止・廃止した場合の影響は大きいか	A 影響は大きい (2点) B 影響は小さい (1点) C 影響はない (0点)	A	2点
4	緊急性	A 緊急性は高い (2点) B 緊急性は低い (1点)	A	2点
5	他の事業との統合や民間委託等はできないか	A 検討の余地はない (2点) B 検討の余地がある (1点) C 可能である (0点)	A	2点
6	コスト削減の余地	A 現状の手法しかない (2点) B 余地がある (1点)	A	2点
計		(10点以上=A、6~9点=B、5点以下=C)	A	12点
総合判定	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> A 継続 B 見直し C 廃止・終了 </div>			
備考	<p>なお、星槎国際高校に対しては、学校法人の安定的な運営を支援するための補助制度、生徒確保対策のための修学奨励金交付制度を継続して実施する。また、芦別高校に対しては、行財政改革を進めるにあたり、令和2年度に向けて通学費の助成率等の見直しを進める。</p>			

款	10 教育費	項	2 小学校費	目	1 学校管理費																														
事務事業名	小学校管理業務																																		
決算額(円)	財源内訳(円)																																		
65,131,468	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源																														
				33,804,010	31,327,458																														
事業目的	各小学校の適切な管理運営を行い、教育環境の改善と充実を図る。																																		
事業内容及び成果	<p>小学校の管理運営</p> <p>(1) 学校別施設修繕関係</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学校名</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>芦別小学校</td> <td>2,618,496円</td> </tr> <tr> <td>上芦別小学校</td> <td>1,859,842円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>4,478,338円</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 備品整備関係</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学校名</th> <th>備品名</th> <th>数量</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学校2校</td> <td>AED</td> <td>2台(芦小・上小各1台)</td> <td>712,800円</td> </tr> <tr> <td>芦別小学校</td> <td>傘立て</td> <td>6台</td> <td>122,990円</td> </tr> <tr> <td>芦別小学校</td> <td>冷蔵庫</td> <td>1式</td> <td>56,592円</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 小学校整備事業</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学校名</th> <th>事業内容</th> <th>総事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>芦別小学校</td> <td>高学年棟・管理棟屋上防水工事</td> <td>33,804,000円</td> </tr> </tbody> </table>					学校名	金額	芦別小学校	2,618,496円	上芦別小学校	1,859,842円	合計	4,478,338円	学校名	備品名	数量	金額	小学校2校	AED	2台(芦小・上小各1台)	712,800円	芦別小学校	傘立て	6台	122,990円	芦別小学校	冷蔵庫	1式	56,592円	学校名	事業内容	総事業費	芦別小学校	高学年棟・管理棟屋上防水工事	33,804,000円
学校名	金額																																		
芦別小学校	2,618,496円																																		
上芦別小学校	1,859,842円																																		
合計	4,478,338円																																		
学校名	備品名	数量	金額																																
小学校2校	AED	2台(芦小・上小各1台)	712,800円																																
芦別小学校	傘立て	6台	122,990円																																
芦別小学校	冷蔵庫	1式	56,592円																																
学校名	事業内容	総事業費																																	
芦別小学校	高学年棟・管理棟屋上防水工事	33,804,000円																																	

<事務事業評価結果>

1	市が実施する必要がある事務事業か	A 必要(2点) B どちらかといえば必要(1点) C 必要ではない(0点)	A	2点
2	重点事業との関連性	A 重点事業(2点) B 一般事業(1点)	B	1点
3	事務事業を休止・廃止した場合の影響は大きいか	A 影響は大きい(2点) B 影響は小さい(1点) C 影響はない(0点)	A	2点
4	緊急性	A 緊急性は高い(2点) B 緊急性は低い(1点)	B	1点
5	他の事業との統合や民間委託等はできないか	A 検討の余地はない(2点) B 検討の余地がある(1点) C 可能である(0点)	A	2点
6	コスト削減の余地	A 現状の手法しかない(2点) B 余地がある(1点)	A	2点
計		(10点以上=A、6~9点=B、5点以下=C)	A	10点
総合判定	<input checked="" type="checkbox"/> A 継続 <input type="checkbox"/> B 見直し <input type="checkbox"/> C 廃止・終了			

款	10 教育費	項	2 小学校費	目	2 教育振興費																																							
事務事業名	小学校教育振興事業																																											
決算額(円)	財源内訳(円)																																											
8,468,619	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源																																							
	78,608				8,390,011																																							
事業目的	<p>1 小学校の授業用教材・教具等を整備することにより、効率的な教育の振興を図る。</p> <p>2 特別支援学級に在籍する児童の状態を適切に把握し、きめ細かい支援を行うため、障がい種ごとの学級に在籍している児童の人数に応じ、補助（介助）員を配置する。</p> <p>3 特別支援教育就学奨励費補助金の交付により、特別支援学級に就学している児童の世帯の経済的負担の軽減を図る。</p>																																											
事業内容及び成果	<p>1 授業用教材、教具等を効果的に整備した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学校名</th> <th>教材名</th> <th>数量</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">芦別小学校</td> <td>ホビー両刃のこぎり 15丁組</td> <td>1組</td> <td>28,620円</td> </tr> <tr> <td>小刀セット 40本組</td> <td>1組</td> <td>24,300円</td> </tr> <tr> <td>電子はかり KD-312</td> <td>6台</td> <td>19,440円</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">上芦別小学校</td> <td>言語訓練用文字カード（乗物）</td> <td>1個</td> <td>7,300円</td> </tr> <tr> <td>リーディングトラッカー</td> <td>2セット</td> <td>2,160円</td> </tr> <tr> <td>スタンド付き移動ボード</td> <td>1台</td> <td>45,198円</td> </tr> <tr> <td>言語訓練用文字カード（生物）</td> <td>1個</td> <td>7,300円</td> </tr> <tr> <td>読みのアセスメント・指導パッケージ</td> <td>1個</td> <td>17,000円</td> </tr> <tr> <td>しっかり見よう（PCソフト）</td> <td>1枚</td> <td>12,300円</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 特別支援学級への補助（介助）員の配置状況 芦別小学校 5人</p> <p>3 特別支援教育就学奨励費補助金の交付により、該当世帯の経済的負担の軽減を図った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>人員</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>特別支援教育就学奨励費補助</td> <td>5人</td> <td>157,796円</td> </tr> </tbody> </table>					学校名	教材名	数量	金額	芦別小学校	ホビー両刃のこぎり 15丁組	1組	28,620円	小刀セット 40本組	1組	24,300円	電子はかり KD-312	6台	19,440円	上芦別小学校	言語訓練用文字カード（乗物）	1個	7,300円	リーディングトラッカー	2セット	2,160円	スタンド付き移動ボード	1台	45,198円	言語訓練用文字カード（生物）	1個	7,300円	読みのアセスメント・指導パッケージ	1個	17,000円	しっかり見よう（PCソフト）	1枚	12,300円	区分	人員	金額	特別支援教育就学奨励費補助	5人	157,796円
学校名	教材名	数量	金額																																									
芦別小学校	ホビー両刃のこぎり 15丁組	1組	28,620円																																									
	小刀セット 40本組	1組	24,300円																																									
	電子はかり KD-312	6台	19,440円																																									
上芦別小学校	言語訓練用文字カード（乗物）	1個	7,300円																																									
	リーディングトラッカー	2セット	2,160円																																									
	スタンド付き移動ボード	1台	45,198円																																									
	言語訓練用文字カード（生物）	1個	7,300円																																									
	読みのアセスメント・指導パッケージ	1個	17,000円																																									
	しっかり見よう（PCソフト）	1枚	12,300円																																									
区分	人員	金額																																										
特別支援教育就学奨励費補助	5人	157,796円																																										

次頁へ続く

<事務事業評価結果>

1	市が実施する必要がある事務事業か	A 必要 (2点) B どちらかといえば必要 (1点) C 必要ではない (0点)	A	2点			
2	重点事業との関連性	A 重点事業 (2点) B 一般事業 (1点)	B	1点			
3	事務事業を休止・廃止した場合の影響は大きいか	A 影響は大きい (2点) B 影響は小さい (1点) C 影響はない (0点)	A	2点			
4	緊急性	A 緊急性は高い (2点) B 緊急性は低い (1点)	B	1点			
5	他の事業との統合や民間委託等はできないか	A 検討の余地はない (2点) B 検討の余地がある (1点) C 可能である (0点)	A	2点			
6	コスト削減の余地	A 現状の手法しかない (2点) B 余地がある (1点)	A	2点			
計		(10点以上=A、6~9点=B、5点以下=C)	A	10点			
総合判定	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 33%; text-align: center;">A 継続</td> <td style="width: 33%; text-align: center;">B 見直し</td> <td style="width: 33%; text-align: center;">C 廃止・終了</td> </tr> </table>				A 継続	B 見直し	C 廃止・終了
A 継続	B 見直し	C 廃止・終了					

款	10 教育費	項	2 小学校費	目	2 教育振興費																																	
事務事業名	小学校就学援助事業																																					
決算額(円)	財 源 内 訳 (円)																																					
4,456,634	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源																																	
	13,897				4,442,737																																	
事業目的	<p>経済的理由のため就学困難と認められる児童の保護者に対し、就学援助費を支給することにより、義務教育の円滑な実施に資することを目的とする。</p>																																					
事業内容及び成果	<p>保護者から提出された「申請書」により、収入額等を調査し、就学援助該当者と認定した者に就学援助費を支給した。</p> <p>※ 支給種別（学用品・通学用品費、給食費等）と金額は、各学校や学年、実績等により異なる。</p> <p>【要保護、準要保護世帯に対する扶助の内容】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>人 数</th> <th>金 額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>校外活動費扶助</td> <td>10人</td> <td>2,700円</td> </tr> <tr> <td>学用品・通学用品費等扶助</td> <td>54人</td> <td>675,834円</td> </tr> <tr> <td>修学旅行費扶助</td> <td>10人</td> <td>281,178円</td> </tr> <tr> <td>新入学学用品費扶助</td> <td>7人</td> <td>284,200円</td> </tr> <tr> <td>体育実技用具費等扶助</td> <td>12人</td> <td>302,640円</td> </tr> <tr> <td>運動着購入費</td> <td>4人</td> <td>24,000円</td> </tr> <tr> <td>学校給食費扶助</td> <td>54人</td> <td>2,532,750円</td> </tr> <tr> <td>医療費扶助</td> <td>1人</td> <td>7,370円</td> </tr> <tr> <td>P T A会費</td> <td>52人</td> <td>143,402円</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>延 204人</td> <td>4,254,074円</td> </tr> </tbody> </table>					区 分	人 数	金 額	校外活動費扶助	10人	2,700円	学用品・通学用品費等扶助	54人	675,834円	修学旅行費扶助	10人	281,178円	新入学学用品費扶助	7人	284,200円	体育実技用具費等扶助	12人	302,640円	運動着購入費	4人	24,000円	学校給食費扶助	54人	2,532,750円	医療費扶助	1人	7,370円	P T A会費	52人	143,402円	合 計	延 204人	4,254,074円
区 分	人 数	金 額																																				
校外活動費扶助	10人	2,700円																																				
学用品・通学用品費等扶助	54人	675,834円																																				
修学旅行費扶助	10人	281,178円																																				
新入学学用品費扶助	7人	284,200円																																				
体育実技用具費等扶助	12人	302,640円																																				
運動着購入費	4人	24,000円																																				
学校給食費扶助	54人	2,532,750円																																				
医療費扶助	1人	7,370円																																				
P T A会費	52人	143,402円																																				
合 計	延 204人	4,254,074円																																				

<事務事業評価結果>

1	市が実施する必要がある事務事業か	A 必要 (2点) B どちらかといえば必要 (1点) C 必要ではない (0点)	A	2点			
2	重点事業との関連性	A 重点事業 (2点) B 一般事業 (1点)	B	1点			
3	事務事業を休止・廃止した場合の影響は大きいのか	A 影響は大きい (2点) B 影響は小さい (1点) C 影響はない (0点)	A	2点			
4	緊急性	A 緊急性は高い (2点) B 緊急性は低い (1点)	B	1点			
5	他の事業との統合や民間委託等はできないか	A 検討の余地はない (2点) B 検討の余地がある (1点) C 可能である (0点)	A	2点			
6	コスト削減の余地	A 現状の手法しかない (2点) B 余地がある (1点)	A	2点			
計		(10点以上=A、6~9点=B、5点以下=C)	A	10点			
総合判定	<table border="0"> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">A 継続</td> <td style="padding: 2px;">B 見直し</td> <td style="padding: 2px;">C 廃止・終了</td> </tr> </table>				A 継続	B 見直し	C 廃止・終了
A 継続	B 見直し	C 廃止・終了					

款	10 教育費	項	2 小学校費	目	2 教育振興費
事務事業名	小学校情報化教育推進事業				
決算額(円)	財源内訳(円)				
7,251,196	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源
	3,131,000		1,600,000		2,520,196
事業目的	情報化社会に対応するため、早期からのコンピューター教育の充実を図る。				
事業内容及び成果	<p>1 各小学校に学習用パソコンを配置し、各教科等において、パソコンの活用を通じて情報活用能力の育成を図った。</p> <p>2 総務省の「公衆無線LAN環境整備支援事業」を活用し、避難所用として災害時に一般開放する防災Wi-Fiを整備した。</p>				

<事務事業評価結果>

1	市が実施する必要がある事務事業か	A 必要(2点) B どちらかといえば必要(1点) C 必要ではない(0点)	A	2点
2	重点事業との関連性	A 重点事業(2点) B 一般事業(1点)	B	1点
3	事務事業を休止・廃止した場合の影響は大きい	A 影響は大きい(2点) B 影響は小さい(1点) C 影響はない(0点)	A	2点
4	緊急性	A 緊急性は高い(2点) B 緊急性は低い(1点)	B	1点
5	他の事業との統合や民間委託等はないか	A 検討の余地はない(2点) B 検討の余地がある(1点) C 可能である(0点)	A	2点
6	コスト縮減の余地	A 現状の手法しかない(2点) B 余地がある(1点)	A	2点
計		(10点以上=A、6~9点=B、5点以下=C)	A	10点
総合判定	<input checked="" type="checkbox"/> A 継続 <input type="checkbox"/> B 見直し <input type="checkbox"/> C 廃止・終了			

款	10 教育費	項	3 中学校費	目	1 学校管理費																												
事務事業名	中学校管理業務																																
決算額(円)	財源内訳(円)																																
39,867,957	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源																												
					39,867,957																												
事業目的	各中学校の適切な管理運営のため、教育環境の改善と充実を図る。																																
事業内容及び成果	中学校の管理運営 (1) 学校別施設修繕関係 <table border="1" data-bbox="194 633 628 815"> <tr> <th>学校名</th> <th>金額</th> </tr> <tr> <td>芦別中学校</td> <td>2,367,477円</td> </tr> <tr> <td>啓成中学校</td> <td>1,334,865円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>3,702,342円</td> </tr> </table> (2) 備品関係 <table border="1" data-bbox="191 896 1326 1122"> <thead> <tr> <th>学校名</th> <th>備品名</th> <th>数量</th> <th>総事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中学校2校</td> <td>エアコン</td> <td>2台(芦中・啓成中各1台)</td> <td>2,840,400円</td> </tr> <tr> <td>中学校2校</td> <td>扇風機</td> <td>28台(芦中18台・啓成中10台)</td> <td>2,754,000円</td> </tr> <tr> <td>芦別中学校</td> <td>暖房自動制御機器</td> <td>1式</td> <td>2,138,400円</td> </tr> <tr> <td>中学校2校</td> <td>AED</td> <td>2台(芦中・啓成中各1台)</td> <td>712,800円</td> </tr> </tbody> </table>					学校名	金額	芦別中学校	2,367,477円	啓成中学校	1,334,865円	合計	3,702,342円	学校名	備品名	数量	総事業費	中学校2校	エアコン	2台(芦中・啓成中各1台)	2,840,400円	中学校2校	扇風機	28台(芦中18台・啓成中10台)	2,754,000円	芦別中学校	暖房自動制御機器	1式	2,138,400円	中学校2校	AED	2台(芦中・啓成中各1台)	712,800円
学校名	金額																																
芦別中学校	2,367,477円																																
啓成中学校	1,334,865円																																
合計	3,702,342円																																
学校名	備品名	数量	総事業費																														
中学校2校	エアコン	2台(芦中・啓成中各1台)	2,840,400円																														
中学校2校	扇風機	28台(芦中18台・啓成中10台)	2,754,000円																														
芦別中学校	暖房自動制御機器	1式	2,138,400円																														
中学校2校	AED	2台(芦中・啓成中各1台)	712,800円																														

<事務事業評価結果>

1	市が実施する必要がある事務事業か	A 必要(2点) B どちらかといえば必要(1点) C 必要ではない(0点)	A	2点
2	重点事業との関連性	A 重点事業(2点) B 一般事業(1点)	B	1点
3	事務事業を休止・廃止した場合の影響は大きい	A 影響は大きい(2点) B 影響は小さい(1点) C 影響はない(0点)	A	2点
4	緊急性	A 緊急性は高い(2点) B 緊急性は低い(1点)	B	1点
5	他の事業との統合や民間委託等はできないか	A 検討の余地はない(2点) B 検討の余地がある(1点) C 可能である(0点)	A	2点
6	コスト縮減の余地	A 現状の手法しかない(2点) B 余地がある(1点)	A	2点
計		(10点以上=A、6~9点=B、5点以下=C)	A	10点
総合判定	<input checked="" type="checkbox"/> A 継続 <input type="checkbox"/> B 見直し <input type="checkbox"/> C 廃止・終了			

款	10 教育費	項	3 中学校費	目	2 教育振興費																	
事務事業名	中学校教育振興事業																					
決算額(円)	財 源 内 訳 (円)																					
3,009,589	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源																	
	57,392				2,952,197																	
事業目的	<p>1 中学校の授業用教材・教具等を整備することにより、効率的な教育の振興を図る。</p> <p>2 特別支援教育就学奨励費補助金の交付により、特別支援学級に就学している生徒の世帯の経済的負担の軽減を図る。</p> <p>3 遠距離通学に係る通学費を補助することにより、保護者負担の軽減を図る。</p>																					
事業内容及び成果	<p>1 授業用教材、教具等を効果的に整備した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学 校 名</th> <th>教 材 名</th> <th>数 量</th> <th>金 額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">啓成中学校</td> <td>抗菌すべり止め付 ミラスポンジマット</td> <td>2 枚</td> <td>313,200円</td> </tr> <tr> <td>数直線マグネットシート</td> <td>1 枚</td> <td>9,720円</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 特別支援教育就学奨励費補助金の交付により、該当世帯の経済的負担の軽減を図った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>人 員</th> <th>金 額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>特別支援教育就学奨励費補助</td> <td>2人</td> <td>115,399円</td> </tr> </tbody> </table>					学 校 名	教 材 名	数 量	金 額	啓成中学校	抗菌すべり止め付 ミラスポンジマット	2 枚	313,200円	数直線マグネットシート	1 枚	9,720円	区 分	人 員	金 額	特別支援教育就学奨励費補助	2人	115,399円
学 校 名	教 材 名	数 量	金 額																			
啓成中学校	抗菌すべり止め付 ミラスポンジマット	2 枚	313,200円																			
	数直線マグネットシート	1 枚	9,720円																			
区 分	人 員	金 額																				
特別支援教育就学奨励費補助	2人	115,399円																				

<事務事業評価結果>

1	市が実施する必要がある事務事業か	A 必要 (2点) B どちらかといえば必要 (1点) C 必要ではない (0点)	A	2点			
2	重点事業との関連性	A 重点事業 (2点) B 一般事業 (1点)	B	1点			
3	事務事業を休止・廃止した場合の影響は大きい	A 影響は大きい (2点) B 影響は小さい (1点) C 影響はない (0点)	A	2点			
4	緊急性	A 緊急性は高い (2点) B 緊急性は低い (1点)	B	1点			
5	他の事業との統合や民間委託等はないか	A 検討の余地はない (2点) B 検討の余地がある (1点) C 可能である (0点)	A	2点			
6	コスト削減の余地	A 現状の手法しかない (2点) B 余地がある (1点)	A	2点			
計		(10点以上=A、6~9点=B、5点以下=C)	A	10点			
総合判定	<table border="0"> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">A 継続</td> <td style="padding: 0 20px;">B 見直し</td> <td style="padding: 0 20px;">C 廃止・終了</td> </tr> </table>				A 継続	B 見直し	C 廃止・終了
A 継続	B 見直し	C 廃止・終了					

款	10 教育費	項	3 中学校費	目	2 教育振興費																																				
事務事業名	中学校就学援助事業																																								
決算額(円)	財源内訳(円)																																								
4,436,398	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源																																				
	35,788				4,400,610																																				
事業目的	経済的理由のため就学困難と認められる生徒の保護者に対し、就学援助費を支給することにより、義務教育の円滑な実施に資することを目的とする。																																								
事業内容及び成果	<p>保護者から提出された「申請書」により、収入額等を調査し、就学援助該当者と認定した者に就学援助費を支給した。</p> <p>※ 支給種別（学用品・通学用品費、給食費等）と金額は、各学校や学年、実績等により異なる。</p> <p>【要保護、準要保護世帯に対する扶助の内容】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>人数</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>校外活動費扶助</td> <td>9人</td> <td>60,421円</td> </tr> <tr> <td>学用品・通学用品費等扶助</td> <td>34人</td> <td>770,003円</td> </tr> <tr> <td>修学旅行費扶助</td> <td>9人</td> <td>648,984円</td> </tr> <tr> <td>新入学学用品費扶助</td> <td>13人</td> <td>616,200円</td> </tr> <tr> <td>体育実技用具費等扶助</td> <td>4人</td> <td>149,360円</td> </tr> <tr> <td>学校給食費扶助</td> <td>34人</td> <td>1,849,230円</td> </tr> <tr> <td>医療費扶助</td> <td>0人</td> <td>0円</td> </tr> <tr> <td>クラブ活動費</td> <td>19人</td> <td>211,000円</td> </tr> <tr> <td>生徒会費</td> <td>34人</td> <td>49,600円</td> </tr> <tr> <td>P T A会費</td> <td>32人</td> <td>81,600円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>延 188人</td> <td>4,436,398円</td> </tr> </tbody> </table>					区分	人数	金額	校外活動費扶助	9人	60,421円	学用品・通学用品費等扶助	34人	770,003円	修学旅行費扶助	9人	648,984円	新入学学用品費扶助	13人	616,200円	体育実技用具費等扶助	4人	149,360円	学校給食費扶助	34人	1,849,230円	医療費扶助	0人	0円	クラブ活動費	19人	211,000円	生徒会費	34人	49,600円	P T A会費	32人	81,600円	合計	延 188人	4,436,398円
区分	人数	金額																																							
校外活動費扶助	9人	60,421円																																							
学用品・通学用品費等扶助	34人	770,003円																																							
修学旅行費扶助	9人	648,984円																																							
新入学学用品費扶助	13人	616,200円																																							
体育実技用具費等扶助	4人	149,360円																																							
学校給食費扶助	34人	1,849,230円																																							
医療費扶助	0人	0円																																							
クラブ活動費	19人	211,000円																																							
生徒会費	34人	49,600円																																							
P T A会費	32人	81,600円																																							
合計	延 188人	4,436,398円																																							

<事務事業評価結果>

1	市が実施する必要がある事務事業か	A 必要 (2点) B どちらかといえば必要 (1点) C 必要ではない (0点)	A	2点
2	重点事業との関連性	A 重点事業 (2点) B 一般事業 (1点)	B	1点
3	事務事業を休止・廃止した場合の影響は大きいか	A 影響は大きい (2点) B 影響は小さい (1点) C 影響はない (0点)	A	2点
4	緊急性	A 緊急性は高い (2点) B 緊急性は低い (1点)	B	1点
5	他の事業との統合や民間委託等はできないか	A 検討の余地はない (2点) B 検討の余地がある (1点) C 可能である (0点)	A	2点
6	コスト削減の余地	A 現状の手法しかない (2点) B 余地がある (1点)	A	2点
計		(10点以上=A、6~9点=B、5点以下=C)	A	10点
総合判定	<input checked="" type="checkbox"/> A 継続 <input type="checkbox"/> B 見直し <input type="checkbox"/> C 廃止・終了			

款	10 教育費	項	3 中学校費	目	2 教育振興費
事務事業名	中学校情報化教育推進事業				
決算額(円)	財源内訳(円)				
7,593,086	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源
	3,277,000		1,600,000		2,716,086
事業目的	<p>情報化社会に対応するため、技術的、内容的により進歩したコンピューター教育の充実を図るとともに、自主的な学習活動に資する。</p>				
事業内容及び成果	<p>1 各中学校に学習用パソコンを配置し、各教科等において、パソコンの活用を通じて情報活用能力の育成を図った。</p> <p>2 総務省の「公衆無線LAN環境整備支援事業」を活用し、避難所用として災害時に一般開放する防災Wi-Fiを整備した。</p>				

<事務事業評価結果>

1	市が実施する必要がある事務事業か	A 必要(2点) B どちらかといえば必要(1点) C 必要ではない(0点)	A	2点
2	重点事業との関連性	A 重点事業(2点) B 一般事業(1点)	B	1点
3	事務事業を休止・廃止した場合の影響は大きい	A 影響は大きい(2点) B 影響は小さい(1点) C 影響はない(0点)	A	2点
4	緊急性	A 緊急性は高い(2点) B 緊急性は低い(1点)	B	1点
5	他の事業との統合や民間委託等はないか	A 検討の余地はない(2点) B 検討の余地がある(1点) C 可能である(0点)	A	2点
6	コスト削減の余地	A 現状の手法しかない(2点) B 余地がある(1点)	A	2点
計		(10点以上=A、6~9点=B、5点以下=C)	A	10点
総合判定	<input checked="" type="checkbox"/> A 継続 <input type="checkbox"/> B 見直し <input type="checkbox"/> C 廃止・終了			

款	10 教育費	項	4 社会教育費	目	1 社会教育総務費																																			
事務事業名	社会教育委員活動事務																																							
決算額(円)	財 源 内 訳 (円)																																							
223,300	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源																																			
					223,300																																			
事業目的	社会教育行政の推進を図ることを目的とする。																																							
事業内容及び成果	<p>社会教育会議を開催し、社会教育推進計画案について協議を行ったほか、各種研修会等への参加を通して、社会教育委員としての資質向上に努めた。</p> <p>(1) 社会教育委員会議の開催</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>期 日</th> <th>場 所</th> <th>内 容</th> <th>出席者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1回</td> <td>6月29日(金)</td> <td>市民会館</td> <td>平成29年度事業報告など</td> <td>9人</td> </tr> <tr> <td>第2回</td> <td>2月27日(水)</td> <td>〃</td> <td>平成31年度事業計画についての協議など</td> <td>9人</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 各種研修会等への参加</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>期 日</th> <th>場 所</th> <th>本市からの出席者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>空知管内社会教育委員研究協議会総会</td> <td>4月26日(木)</td> <td>栗山町</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>空知管内社会教育委員研究協議会</td> <td>7月24日(火)</td> <td>歌志内市</td> <td>2人</td> </tr> <tr> <td>北海道社会教育研究大会(後志大会)兼全国社会教育委員 連合北海道ブロック大会</td> <td>10月12日(金) ～13日(土)</td> <td>留寿都村</td> <td>3人</td> </tr> <tr> <td>空知管内社会教育委員長等研修会</td> <td>11月29日(木)</td> <td>岩見沢市</td> <td>1人</td> </tr> </tbody> </table>						期 日	場 所	内 容	出席者数	第1回	6月29日(金)	市民会館	平成29年度事業報告など	9人	第2回	2月27日(水)	〃	平成31年度事業計画についての協議など	9人	名 称	期 日	場 所	本市からの出席者数	空知管内社会教育委員研究協議会総会	4月26日(木)	栗山町	1人	空知管内社会教育委員研究協議会	7月24日(火)	歌志内市	2人	北海道社会教育研究大会(後志大会)兼全国社会教育委員 連合北海道ブロック大会	10月12日(金) ～13日(土)	留寿都村	3人	空知管内社会教育委員長等研修会	11月29日(木)	岩見沢市	1人
	期 日	場 所	内 容	出席者数																																				
第1回	6月29日(金)	市民会館	平成29年度事業報告など	9人																																				
第2回	2月27日(水)	〃	平成31年度事業計画についての協議など	9人																																				
名 称	期 日	場 所	本市からの出席者数																																					
空知管内社会教育委員研究協議会総会	4月26日(木)	栗山町	1人																																					
空知管内社会教育委員研究協議会	7月24日(火)	歌志内市	2人																																					
北海道社会教育研究大会(後志大会)兼全国社会教育委員 連合北海道ブロック大会	10月12日(金) ～13日(土)	留寿都村	3人																																					
空知管内社会教育委員長等研修会	11月29日(木)	岩見沢市	1人																																					

<事務事業評価結果>

1	市が実施する必要がある事務事業か	A 必要(2点) B どちらかといえば必要(1点) C 必要ではない(0点)	A	2点
2	重点事業との関連性	A 重点事業(2点) B 一般事業(1点)	B	1点
3	事務事業を休止・廃止した場合の影響は大きいのか	A 影響は大きい(2点) B 影響は小さい(1点) C 影響はない(0点)	A	2点
4	緊急性	A 緊急性は高い(2点) B 緊急性は低い(1点)	B	1点
5	他の事業との統合や民間委託等ができないか	A 検討の余地はない(2点) B 検討の余地がある(1点) C 可能である(0点)	A	2点
6	コスト削減の余地	A 現状の手法しかない(2点) B 余地がある(1点)	A	2点
計		(10点以上=A、6～9点=B、5点以下=C)	A	10点
総合判定	<input checked="" type="checkbox"/> A 継続 B 見直し C 廃止・終了			

款	10 教育費	項	4 社会教育費	目	2 社会教育振興費
事務事業名	各種講座・教室等実施事業				
決算額(円)	財源内訳(円)				
86,159	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源
					86,159
事業目的	市民の多様化する学習ニーズに応え、生涯学習の観点を踏まえながら、各年齢層を対象とした講座・教室等を開催し、市民の自発的・自主的な学習活動を支援することを目的とする。				
事業内容及び成果	各年齢層を対象とした講座・教室等を開催し、市民の自発的・自主的な学習活動を支援する学習機会を提供した。				
	教室、講座等の開設				
	区分	開設場所	開催日及び開催日数	参加人員	
	生涯学習まちづくり出前講座	市内一円	38回	延1,094人	
	レッツ・チャレンジ ① フロアカーリンピック！ ② ガッタンスピナーを作ろう！ ③ ハロウィンDEおぼけピザをつくっちゃお！ ④ クリスマスぼんぼんリースを作ろう！	児童センター	5月19日(土) ～11月17日(土) 4回	延 58人	
	市民講座 ① 森林療法講座(3回) ② ガタタンづくり講座	旭ヶ丘公園ほか	5月10日(木) ～ 3月 6日(水) 4回	延 69人	

<事務事業評価結果>

1	市が実施する必要がある事務事業か	A 必要(2点) B どちらかといえば必要(1点) C 必要ではない(0点)	A	2点
2	重点事業との関連性	A 重点事業(2点) B 一般事業(1点)	B	1点
3	事務事業を休止・廃止した場合の影響は大きいのか	A 影響は大きい(2点) B 影響は小さい(1点) C 影響はない(0点)	A	2点
4	緊急性	A 緊急性は高い(2点) B 緊急性は低い(1点)	B	1点
5	他の事業との統合や民間委託等はないか	A 検討の余地はない(2点) B 検討の余地がある(1点) C 可能である(0点)	A	2点
6	コスト削減の余地	A 現状の手法しかない(2点) B 余地がある(1点)	A	2点
計		(10点以上=A、6～9点=B、5点以下=C)	A	10点
総合判定	<input checked="" type="checkbox"/> A 継続 <input type="checkbox"/> B 見直し <input type="checkbox"/> C 廃止・終了			

款	10 教育費	項	4 社会教育費	目	2 社会教育振興費
事務事業名	各種大学等実施事業				
決算額(円)	財 源 内 訳 (円)				
140,863	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源
					140,863
事業目的	市民の多様化する学習ニーズに応え、生涯学習の観点を踏まえながら、ライフステージに応じた大学を設置し、市民の自発的・自主的な学習活動を支援することを目的とする。				
事業内容及び成果	各大学に応じた一般教養、創作活動やスポーツ体験等の講座・教室等を開催し、市民の自発的・自主的な学習活動を支援する学習機会を提供した。(月2回開設) 教室、講座等の開設				
	区 分	開設場所	開催日及び開催日数	参加人員	
	高齢者大学	市民会館ほか	4月25日(水)～2月20日(水) 24回	延 1,047人	
	女性大学	〃	5月11日(金)～2月22日(金) 18回	延 616人	

<事務事業評価結果>

1	市が実施する必要がある事務事業か	A 必要 (2点) B どちらかといえば必要 (1点) C 必要ではない (0点)	A	2点
2	重点事業との関連性	A 重点事業 (2点) B 一般事業 (1点)	B	1点
3	事務事業を休止・廃止した場合の影響は大きいか	A 影響は大きい (2点) B 影響は小さい (1点) C 影響はない (0点)	A	2点
4	緊急性	A 緊急性は高い (2点) B 緊急性は低い (1点)	B	1点
5	他の事業との統合や民間委託等はないか	A 検討の余地はない (2点) B 検討の余地がある (1点) C 可能である (0点)	A	2点
6	コスト削減の余地	A 現状の手法しかない (2点) B 余地がある (1点)	A	2点
計		(10点以上=A、6～9点=B、5点以下=C)	A	10点
総合判定	<input checked="" type="radio"/> A 継続 <input type="radio"/> B 見直し <input type="radio"/> C 廃止・終了			

款	10 教育費	項	4 社会教育費	目	2 社会教育振興費						
事務事業名	一般社会教育事務										
決算額(円)	財 源 内 訳 (円)										
169,292	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源						
					169,292						
事業目的	各種社会教育事業の推進を図ることを目的とする。										
事業内容及び成果	<p>社会教育に関する研修会等への参加による資質向上や、推進計画に基づいた企画運営により各種社会教育事業の推進を図った。</p> <p>推進計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>計 画 名</th> <th>計 画 期 間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第2次芦別市生涯学習推進計画</td> <td>平成22年度～令和元年度</td> </tr> <tr> <td>芦別市男女共同参画推進計画</td> <td>平成22年度～令和元年度</td> </tr> </tbody> </table>					計 画 名	計 画 期 間	第2次芦別市生涯学習推進計画	平成22年度～令和元年度	芦別市男女共同参画推進計画	平成22年度～令和元年度
計 画 名	計 画 期 間										
第2次芦別市生涯学習推進計画	平成22年度～令和元年度										
芦別市男女共同参画推進計画	平成22年度～令和元年度										

<事務事業評価結果>

1	市が実施する必要がある事務事業か	A 必要 (2点) B どちらかといえば必要 (1点) C 必要ではない (0点)	A	2点
2	重点事業との関連性	A 重点事業 (2点) B 一般事業 (1点)	B	1点
3	事務事業を休止・廃止した場合の影響は大きいのか	A 影響は大きい (2点) B 影響は小さい (1点) C 影響はない (0点)	A	2点
4	緊急性	A 緊急性は高い (2点) B 緊急性は低い (1点)	B	1点
5	他の事業との統合や民間委託等はないか	A 検討の余地はない (2点) B 検討の余地がある (1点) C 可能である (0点)	A	2点
6	コスト削減の余地	A 現状の手法しかない (2点) B 余地がある (1点)	A	2点
計		(10点以上=A、6～9点=B、5点以下=C)	A	10点
総合判定	<input checked="" type="checkbox"/> A 継続 B 見直し C 廃止・終了			
備考	<p>なお、次期計画である「第3次芦別市生涯学習推進計画」及び「第2次芦別市男女共同参画推進計画」を策定し、令和2年度以降の各種社会教育事業の推進を図る。</p>			

款	10 教育費	項	4 社会教育費	目	2 社会教育振興費
事務事業名	成人式実施事業				
決算額(円)	財源内訳(円)				
75,202	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源
					75,202
事業目的	新しい時代に向かって夢と希望を抱き、成人となる者の門出を祝うことを目的とする。				
事業内容及び成果	式典及び交流会を実施した。 成人式行事				
区分	内容等				
開催期日	平成31年1月13日(日)				
成人該当者数	男 63人	女 55人	合計	118人	
出席者数	男 49人	女 44人	合計	93人	
出席率	78.8%				
記念品(成人該当者)	なし				
成人式典					
開催時間	午後1時～午後1時35分				
開催場所	青年センター体育館				
主な内容	式典				
実施主体	芦別市教育委員会				
ふれあい広場					
開催時間	午後1時35分～午後3時				
開催場所	青年センター体育館				
主な内容	新成人歓談の時間				
実施主体	芦別市教育委員会				

<事務事業評価結果>

1	市が実施する必要がある事務事業か	A 必要(2点) B どちらかといえば必要(1点) C 必要ではない(0点)	A	2点
2	重点事業との関連性	A 重点事業(2点) B 一般事業(1点)	B	1点
3	事務事業を休止・廃止した場合の影響は大きい	A 影響は大きい(2点) B 影響は小さい(1点) C 影響はない(0点)	A	2点
4	緊急性	A 緊急性は高い(2点) B 緊急性は低い(1点)	B	1点
5	他の事業との統合や民間委託等ができない	A 検討の余地はない(2点) B 検討の余地がある(1点) C 可能である(0点)	A	2点
6	コスト削減の余地	A 現状の手法しかない(2点) B 余地がある(1点)	A	2点
計		(10点以上=A、6～9点=B、5点以下=C)	A	10点
総合判定	<input checked="" type="radio"/> A 継続 <input type="radio"/> B 見直し <input type="radio"/> C 廃止・終了			

款	10 教育費	項	4 社会教育費	目	2 社会教育振興費								
事務事業名	家庭教育事業												
決算額(円)	財 源 内 訳 (円)												
150,875	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源								
					150,875								
事業目的	家庭の教育力向上を目指した親子参加型の体験教室等の実施、各種関係団体への補助をし、家庭教育に関する学習機会の充実を図る。												
事業内容及び成果	<p>実施事業</p> <p>(1) 幼児、小学生低学年とその親を対象とした、親子体験教室を実施</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>会 場</th> <th>開催日</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>親子体験教室</td> <td>旭ヶ丘公園</td> <td>10月28日(日)</td> <td>子ども25人 保護者19人</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 芦別市PTA連合会活動に対する交付金 109,000円</p>					事業名	会 場	開催日	参加人数	親子体験教室	旭ヶ丘公園	10月28日(日)	子ども25人 保護者19人
事業名	会 場	開催日	参加人数										
親子体験教室	旭ヶ丘公園	10月28日(日)	子ども25人 保護者19人										

<事務事業評価結果>

1	市が実施する必要がある事務事業か	A 必要 (2点) B どちらかといえば必要 (1点) C 必要ではない (0点)	A	2点
2	重点事業との関連性	A 重点事業 (2点) B 一般事業 (1点)	B	1点
3	事務事業を休止・廃止した場合の影響は大きい	A 影響は大きい (2点) B 影響は小さい (1点) C 影響はない (0点)	A	2点
4	緊急性	A 緊急性は高い (2点) B 緊急性は低い (1点)	B	1点
5	他の事業との統合や民間委託等はできないか	A 検討の余地はない (2点) B 検討の余地がある (1点) C 可能である (0点)	A	2点
6	コスト削減の余地	A 現状の手法しかない (2点) B 余地がある (1点)	A	2点
計		(10点以上=A、6~9点=B、5点以下=C)	A	10点
総合判定	<input checked="" type="checkbox"/> A 継続 <input type="checkbox"/> B 見直し <input type="checkbox"/> C 廃止・終了			

款	10 教育費	項	4 社会教育費	目	2 社会教育振興費																														
事務事業名	異文化活動事務																																		
決算額(円)	財 源 内 訳 (円)																																		
0	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源																														
事業目的	国際交流員を講師とした英会話講座等を実施し、英語能力の向上と異文化交流を行うことを目的とする。																																		
事業内容及び成果	<p>実施事業</p> <p>(1) 2期に分けて講座参加者の募集を行い、英会話講座を実施した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>期 別</th> <th>主な内容</th> <th>実施回数</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">前 期 (5月～9月)</td> <td>親子英会話講座</td> <td>12回</td> <td>84人</td> </tr> <tr> <td>英会話初級コース</td> <td>13回</td> <td>169人</td> </tr> <tr> <td>英会話応用コース</td> <td>13回</td> <td>26人</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">後 期 (12月～3月)</td> <td>親子英会話講座</td> <td>15回</td> <td>90人</td> </tr> <tr> <td>英会話初級コース</td> <td>13回</td> <td>143人</td> </tr> <tr> <td>英会話応用コース</td> <td>13回</td> <td>52人</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 子どもセンター(つばさ)に通う児童を対象とした、楽しみながら英語を学ぶ目的として実施した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>5月～3月 (毎月1～2回)</th> <th>実施回数</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>22回</td> <td>667人</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 市内学校のALT業務 26回</p>					期 別	主な内容	実施回数	参加人数	前 期 (5月～9月)	親子英会話講座	12回	84人	英会話初級コース	13回	169人	英会話応用コース	13回	26人	後 期 (12月～3月)	親子英会話講座	15回	90人	英会話初級コース	13回	143人	英会話応用コース	13回	52人	5月～3月 (毎月1～2回)	実施回数	参加人数		22回	667人
期 別	主な内容	実施回数	参加人数																																
前 期 (5月～9月)	親子英会話講座	12回	84人																																
	英会話初級コース	13回	169人																																
	英会話応用コース	13回	26人																																
後 期 (12月～3月)	親子英会話講座	15回	90人																																
	英会話初級コース	13回	143人																																
	英会話応用コース	13回	52人																																
5月～3月 (毎月1～2回)	実施回数	参加人数																																	
	22回	667人																																	

<事務事業評価結果>

1	市が実施する必要がある事務事業か	A 必要(2点) B どちらかといえば必要(1点) C 必要ではない(0点)	A	2点			
2	重点事業との関連性	A 重点事業(2点) B 一般事業(1点)	B	1点			
3	事務事業を休止・廃止した場合の影響は大きい	A 影響は大きい(2点) B 影響は小さい(1点) C 影響はない(0点)	A	2点			
4	緊急性	A 緊急性は高い(2点) B 緊急性は低い(1点)	B	1点			
5	他の事業との統合や民間委託等ができないか	A 検討の余地はない(2点) B 検討の余地がある(1点) C 可能である(0点)	A	2点			
6	コスト削減の余地	A 現状の手法しかない(2点) B 余地がある(1点)	A	2点			
計		(10点以上=A、6～9点=B、5点以下=C)	A	10点			
総合判定	<table border="0"> <tr> <td style="text-align: center;">A 継続</td> <td style="text-align: center;">B 見直し</td> <td style="text-align: center;">C 廃止・終了</td> </tr> </table>				A 継続	B 見直し	C 廃止・終了
A 継続	B 見直し	C 廃止・終了					

款	10 教育費	項	4 社会教育費	目	2 社会教育振興費
事務事業名	学習活動情報提供事務				
決算額(円)	財 源 内 訳 (円)				
0	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源
事業目的	市民の自発的・自主的な生涯学習活動を支援することを目的とする。				
事業内容及び成果	ホームページ等を活用し、生涯学習活動に関する情報提供を行った。				

<事務事業評価結果>

1	市が実施する必要がある事務事業か	A 必要 (2点) B どちらかといえば必要 (1点) C 必要ではない (0点)	A	2点
2	重点事業との関連性	A 重点事業 (2点) B 一般事業 (1点)	B	1点
3	事務事業を休止・廃止した場合の影響は大きい	A 影響は大きい (2点) B 影響は小さい (1点) C 影響はない (0点)	A	2点
4	緊急性	A 緊急性は高い (2点) B 緊急性は低い (1点)	B	1点
5	他の事業との統合や民間委託等はできないか	A 検討の余地はない (2点) B 検討の余地がある (1点) C 可能である (0点)	A	2点
6	コスト縮減の余地	A 現状の手法しかない (2点) B 余地がある (1点)	A	2点
計		(10点以上=A、6~9点=B、5点以下=C)	A	10点
総合判定	<input checked="" type="checkbox"/> A 継続 <input type="checkbox"/> B 見直し <input type="checkbox"/> C 廃止・終了			

款	10 教育費	項	4 社会教育費	目	2 社会教育振興費
事務事業名	男女共同参画推進業務				
決算額(円)	財源内訳(円)				
0	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源
事業目的	男女共同参画社会の形成を図ることを目的とする。				
事業内容及び成果	芦別市男女共同参画推進協議会に対する側面的支援を行った。				

<事務事業評価結果>

1	市が実施する必要がある事務事業か	A 必要 (2点) B どちらかといえば必要 (1点) C 必要ではない (0点)	A	2点
2	重点事業との関連性	A 重点事業 (2点) B 一般事業 (1点)	B	1点
3	事務事業を休止・廃止した場合の影響は大きいのか	A 影響は大きい (2点) B 影響は小さい (1点) C 影響はない (0点)	A	2点
4	緊急性	A 緊急性は高い (2点) B 緊急性は低い (1点)	B	1点
5	他の事業との統合や民間委託等はできないか	A 検討の余地はない (2点) B 検討の余地がある (1点) C 可能である (0点)	A	2点
6	コスト縮減の余地	A 現状の手法しかない (2点) B 余地がある (1点)	A	2点
計		(10点以上=A、6~9点=B、5点以下=C)	A	10点
総合判定	<input checked="" type="checkbox"/> A 継続 B 見直し C 廃止・終了			

款	10 教育費	項	4 社会教育費	目	3 青少年育成費																																																																										
事務事業名	青少年育成事業																																																																														
決算額(円)	財源内訳(円)																																																																														
1,676,401	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源																																																																										
				880,000	796,401																																																																										
事業目的	青少年の健全育成に資する活動に対し、支援協力するとともに、青少年健全育成につながるリーダーの育成や指導者養成等を目的とする。																																																																														
事業内容及び成果	<p>1 各種青少年健全育成事業を実施した。</p> <p>2 青少年育成団体等の活動を促進するため、交付金、補助金を交付した。</p> <p>3 青少年の交流・社会参加事業等実施状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>実施期日</th> <th>場所</th> <th>参加人数等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全市一斉親子クリーン作戦</td> <td>5月13日(日)ほか</td> <td>市内一円</td> <td>1,516人</td> </tr> <tr> <td>青少年健全育成市民の集い</td> <td>2月3日(日)</td> <td>市民会館ほか</td> <td>240人</td> </tr> <tr> <td>「青少年の日」作文・標語募集・表彰</td> <td>募集期間 7月～9月 表彰 2月3日(日)</td> <td>小・中・高・専</td> <td>作文 26点 標語 58点</td> </tr> <tr> <td>青少年の顕彰</td> <td>2月 3日(日)</td> <td>市民会館</td> <td>個人:15人</td> </tr> <tr> <td>各種展示報告ほか</td> <td>2月 3日(日)</td> <td>市民会館</td> <td>2校、体験報告事業</td> </tr> <tr> <td>雪中運動会</td> <td>1月26日(土)</td> <td>上芦別小学校</td> <td>43人</td> </tr> <tr> <td>青少年育成連絡協議会補助</td> <td>年間</td> <td>6連合会</td> <td>会員 871人</td> </tr> </tbody> </table> <p>4 青少年健全育成事業実施状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>実施期間</th> <th>場所</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>テレホン相談事業</td> <td>年間</td> <td>青年センター</td> <td>相談件数 2件</td> </tr> <tr> <td>「子どもたちの悩み」発行</td> <td>年 1 回</td> <td>学校・関係者</td> <td>各小・中・高・専門学校</td> </tr> <tr> <td>あいさつ運動の推進</td> <td>年間</td> <td>市内一円</td> <td>市広報紙による啓発</td> </tr> </tbody> </table> <p>5 青少年団体リーダー及び育成指導者養成事業の実施状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>実施期日</th> <th>場所</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>子ども会リーダー養成講習会(講習・宿泊)</td> <td>8月1日(水)～3日(金)</td> <td>北海道立青少年体験活動支援施設ネイパル深川</td> <td>小学生18人、中学生3人、指導者5人、外国人青年1人</td> </tr> <tr> <td>青少年の体験活動推進事業</td> <td>8月10日(金)～12日(日)</td> <td>北海道立青少年体験活動支援施設ネイパル砂川</td> <td>4人</td> </tr> <tr> <td>子ども会指導者養成講習会(前期)</td> <td>9月27日(木)</td> <td>総合体育館</td> <td>21人</td> </tr> <tr> <td>子ども会指導者養成講習会(後期)</td> <td>12月11日(火)</td> <td>青年センター</td> <td>15人</td> </tr> </tbody> </table> <p>6 実施状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>件数</th> <th>交付金総額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>青少年健全育成基金活用事業</td> <td>18件</td> <td>880,000円</td> </tr> </tbody> </table>					事業名	実施期日	場所	参加人数等	全市一斉親子クリーン作戦	5月13日(日)ほか	市内一円	1,516人	青少年健全育成市民の集い	2月3日(日)	市民会館ほか	240人	「青少年の日」作文・標語募集・表彰	募集期間 7月～9月 表彰 2月3日(日)	小・中・高・専	作文 26点 標語 58点	青少年の顕彰	2月 3日(日)	市民会館	個人:15人	各種展示報告ほか	2月 3日(日)	市民会館	2校、体験報告事業	雪中運動会	1月26日(土)	上芦別小学校	43人	青少年育成連絡協議会補助	年間	6連合会	会員 871人	事業名	実施期間	場所	参加人数	テレホン相談事業	年間	青年センター	相談件数 2件	「子どもたちの悩み」発行	年 1 回	学校・関係者	各小・中・高・専門学校	あいさつ運動の推進	年間	市内一円	市広報紙による啓発	事業名	実施期日	場所	参加人数	子ども会リーダー養成講習会(講習・宿泊)	8月1日(水)～3日(金)	北海道立青少年体験活動支援施設ネイパル深川	小学生18人、中学生3人、指導者5人、外国人青年1人	青少年の体験活動推進事業	8月10日(金)～12日(日)	北海道立青少年体験活動支援施設ネイパル砂川	4人	子ども会指導者養成講習会(前期)	9月27日(木)	総合体育館	21人	子ども会指導者養成講習会(後期)	12月11日(火)	青年センター	15人	事業名	件数	交付金総額	青少年健全育成基金活用事業	18件	880,000円
事業名	実施期日	場所	参加人数等																																																																												
全市一斉親子クリーン作戦	5月13日(日)ほか	市内一円	1,516人																																																																												
青少年健全育成市民の集い	2月3日(日)	市民会館ほか	240人																																																																												
「青少年の日」作文・標語募集・表彰	募集期間 7月～9月 表彰 2月3日(日)	小・中・高・専	作文 26点 標語 58点																																																																												
青少年の顕彰	2月 3日(日)	市民会館	個人:15人																																																																												
各種展示報告ほか	2月 3日(日)	市民会館	2校、体験報告事業																																																																												
雪中運動会	1月26日(土)	上芦別小学校	43人																																																																												
青少年育成連絡協議会補助	年間	6連合会	会員 871人																																																																												
事業名	実施期間	場所	参加人数																																																																												
テレホン相談事業	年間	青年センター	相談件数 2件																																																																												
「子どもたちの悩み」発行	年 1 回	学校・関係者	各小・中・高・専門学校																																																																												
あいさつ運動の推進	年間	市内一円	市広報紙による啓発																																																																												
事業名	実施期日	場所	参加人数																																																																												
子ども会リーダー養成講習会(講習・宿泊)	8月1日(水)～3日(金)	北海道立青少年体験活動支援施設ネイパル深川	小学生18人、中学生3人、指導者5人、外国人青年1人																																																																												
青少年の体験活動推進事業	8月10日(金)～12日(日)	北海道立青少年体験活動支援施設ネイパル砂川	4人																																																																												
子ども会指導者養成講習会(前期)	9月27日(木)	総合体育館	21人																																																																												
子ども会指導者養成講習会(後期)	12月11日(火)	青年センター	15人																																																																												
事業名	件数	交付金総額																																																																													
青少年健全育成基金活用事業	18件	880,000円																																																																													

次項へ続く

<事務事業評価結果>

1	市が実施する必要がある事務事業か	A 必要 (2点) B どちらかといえば必要 (1点) C 必要ではない (0点)	A	2点
2	重点事業との関連性	A 重点事業 (2点) B 一般事業 (1点)	B	1点
3	事務事業を休止・廃止した場合の影響は大きいか	A 影響は大きい (2点) B 影響は小さい (1点) C 影響はない (0点)	A	2点
4	緊急性	A 緊急性は高い (2点) B 緊急性は低い (1点)	B	1点
5	他の事業との統合や民間委託等はできないか	A 検討の余地はない (2点) B 検討の余地がある (1点) C 可能である (0点)	A	2点
6	コスト縮減の余地	A 現状の手法しかない (2点) B 余地がある (1点)	A	2点
計		(10点以上=A、6~9点=B、5点以下=C)	A	10点
総合判定	<input checked="" type="radio"/> A 継続 <input type="radio"/> B 見直し <input type="radio"/> C 廃止・終了			

款	10 教育費	項	4 社会教育費	目	3 青少年育成費																								
事務事業名	青少年非行防止活動業務																												
決算額(円)	財源内訳(円)																												
642,818	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源																								
					642,818																								
事業目的	青少年の非行防止活動を効果的かつ総合的に推進する。																												
事業内容及び成果	<p>青少年センターを設置し、関係機関・団体との連携を密にし、協力しながら各種補導業務、環境浄化活動等に当たった。</p> <p>活動状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>主な内容</th> <th>回数等</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">補導員パトロールの実施</td> <td>地域パトロール</td> <td>市内</td> <td>随時</td> </tr> <tr> <td>祭典特別パトロール</td> <td>4回</td> <td>201人</td> </tr> <tr> <td>非行防止特別パトロール</td> <td>67日</td> <td>122人</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">有害環境浄化活動の実施</td> <td>有害図書等立入調査</td> <td>7月20日(金)</td> <td>13人</td> </tr> <tr> <td>環境浄化モニター部会</td> <td>7月20日(金)</td> <td>13人</td> </tr> <tr> <td>電話ボックス等巡回調査</td> <td>市内一円</td> <td>随時</td> </tr> </tbody> </table>					事業名	主な内容	回数等	人数	補導員パトロールの実施	地域パトロール	市内	随時	祭典特別パトロール	4回	201人	非行防止特別パトロール	67日	122人	有害環境浄化活動の実施	有害図書等立入調査	7月20日(金)	13人	環境浄化モニター部会	7月20日(金)	13人	電話ボックス等巡回調査	市内一円	随時
事業名	主な内容	回数等	人数																										
補導員パトロールの実施	地域パトロール	市内	随時																										
	祭典特別パトロール	4回	201人																										
	非行防止特別パトロール	67日	122人																										
有害環境浄化活動の実施	有害図書等立入調査	7月20日(金)	13人																										
	環境浄化モニター部会	7月20日(金)	13人																										
	電話ボックス等巡回調査	市内一円	随時																										

<事務事業評価結果>

1	市が実施する必要がある事務事業か	A 必要(2点) B どちらかといえば必要(1点) C 必要ではない(0点)	A	2点
2	重点事業との関連性	A 重点事業(2点) B 一般事業(1点)	B	1点
3	事務事業を休止・廃止した場合の影響は大きいか	A 影響は大きい(2点) B 影響は小さい(1点) C 影響はない(0点)	A	2点
4	緊急性	A 緊急性は高い(2点) B 緊急性は低い(1点)	B	1点
5	他の事業との統合や民間委託等ができないか	A 検討の余地はない(2点) B 検討の余地がある(1点) C 可能である(0点)	A	2点
6	コスト削減の余地	A 現状の手法しかない(2点) B 余地がある(1点)	A	2点
計		(10点以上=A、6~9点=B、5点以下=C)	A	10点
総合判定	<input checked="" type="checkbox"/> A 継続 <input type="checkbox"/> B 見直し <input type="checkbox"/> C 廃止・終了			

款	10 教育費	項	4 社会教育費	目	3 青少年育成費
事務事業名	青少年安全対策事務				
決算額(円)	財源内訳(円)				
0	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源
事業目的	不審者による事件・事故を未然に防止することを目的とする。				
事業内容及び成果	青少年の安全を確保するため、「子ども110番緊急避難所」を設置した。また、犯罪等を抑止するため、青色回転灯装着公用車による巡回パトロールを実施した。				

<事務事業評価結果>

1	市が実施する必要がある事務事業か	A 必要(2点) B どちらかといえば必要(1点) C 必要ではない(0点)	A	2点
2	重点事業との関連性	A 重点事業(2点) B 一般事業(1点)	B	1点
3	事務事業を休止・廃止した場合の影響は大きい	A 影響は大きい(2点) B 影響は小さい(1点) C 影響はない(0点)	A	2点
4	緊急性	A 緊急性は高い(2点) B 緊急性は低い(1点)	A	2点
5	他の事業との統合や民間委託等はないか	A 検討の余地はない(2点) B 検討の余地がある(1点) C 可能である(0点)	B	1点
6	コスト削減の余地	A 現状の手法しかない(2点) B 余地がある(1点)	A	2点
計		(10点以上=A、6~9点=B、5点以下=C)	A	10点
総合判定	<input checked="" type="checkbox"/> A 継続 B 見直し C 廃止・終了			

款	10 教育費	項	4 社会教育費	目	4 文化振興費
事務事業名	芸術・文化活動業務				
決算額(円)	財源内訳(円)				
1,307,888	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源
				1,292,408	15,480
事業目的	地域に根ざした芸術文化を支援するとともに、市民が文化的活動に触れる機会や体験する機会を提供し、地域の芸術文化活動の活性化を図ることを目的とする。				
事業内容及び成果	市民が芸術文化に親しめるよう、芸術家・芸術文化団体の作品の展示場所や発表できる機会を提供するとともに、広く市民に知ってもらうよう周知した。				
	(1) 実施状況				
	事業名	補助先	内容	補助金額	
	芦別市文化連盟 活動事業 (期間 平成30年度)	芦別市文化連盟	① 本市文化の推進及び文化団体相互の連携強化を図るための各種事業を開催 表彰授賞式 11月3日(土・文化の日) 功労賞3人 ② 各種展示発表、文芸講演・研修	377,000円	
	(2) 星の降る里ウインズバンドプロジェクトに対する補助 ポップスコンクール等開催事業 800,000円				

<事務事業評価結果>

1	市が実施する必要がある事務事業か	A 必要(2点) B どちらかといえば必要(1点) C 必要ではない(0点)	A	2点
2	重点事業との関連性	A 重点事業(2点) B 一般事業(1点)	A	2点
3	事務事業を休止・廃止した場合の影響は大きい	A 影響は大きい(2点) B 影響は小さい(1点) C 影響はない(0点)	A	2点
4	緊急性	A 緊急性は高い(2点) B 緊急性は低い(1点)	A	2点
5	他の事業との統合や民間委託等はないか	A 検討の余地はない(2点) B 検討の余地がある(1点) C 可能である(0点)	A	2点
6	コスト削減の余地	A 現状の手法しかない(2点) B 余地がある(1点)	A	2点
計		(10点以上=A、6~9点=B、5点以下=C)	A	12点
総合判定	A 継続 B 見直し C 廃止・終了			

款	10 教育費	項	4 社会教育費	目	4 文化振興費														
事務事業名	芸術文化交流館管理運営業務																		
決算額(円)	財源内訳(円)																		
1,450,389	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源														
				1,450,389															
事業目的	芸術文化活動の発表・交流の場を提供するため、芸術文化交流館の適切な管理運営を行う。																		
事業内容及び成果	<p>市民が気軽に芸術文化活動に参加できるよう、既存施設の有効活用に努めた。</p> <p>来館状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>年間来館者数</th> <th>開館日数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市内</td> <td>1,276人</td> <td rowspan="3">163日</td> </tr> <tr> <td>市外</td> <td>341人</td> </tr> <tr> <td>道外</td> <td>39人</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td colspan="2">1,656人(団体5件・88人含む)</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					区分	年間来館者数	開館日数	市内	1,276人	163日	市外	341人	道外	39人	計	1,656人(団体5件・88人含む)		
区分	年間来館者数	開館日数																	
市内	1,276人	163日																	
市外	341人																		
道外	39人																		
計	1,656人(団体5件・88人含む)																		

<事務事業評価結果>

1	市が実施する必要がある事務事業か	A 必要(2点) B どちらかといえば必要(1点) C 必要ではない(0点)	A	2点
2	重点事業との関連性	A 重点事業(2点) B 一般事業(1点)	B	1点
3	事務事業を休止・廃止した場合の影響は大きい	A 影響は大きい(2点) B 影響は小さい(1点) C 影響はない(0点)	A	2点
4	緊急性	A 緊急性は高い(2点) B 緊急性は低い(1点)	B	1点
5	他の事業との統合や民間委託等はないか	A 検討の余地はない(2点) B 検討の余地がある(1点) C 可能である(0点)	A	2点
6	コスト縮減の余地	A 現状の手法しかない(2点) B 余地がある(1点)	A	2点
計		(10点以上=A、6~9点=B、5点以下=C)	A	10点
総合判定	<input checked="" type="checkbox"/> A 継続 <input type="checkbox"/> B 見直し <input type="checkbox"/> C 廃止・終了			

款	10 教育費	項	4 社会教育費	目	5 体育振興費
事務事業名	スポーツ推進委員事務				
決算額(円)	財源内訳(円)				
260,128	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源
					260,128
事業目的	スポーツに関する各種団体の育成や市民への実技指導などを行い、スポーツの振興を図ることを目的とする。				
事業内容及び成果	市民の求めに応じて、スポーツの実技指導や市主催スポーツ行事・事業等の協力を行い、市民に対しスポーツ推進の啓発を行った。 スポーツ推進委員 9人				

<事務事業評価結果>

1	市が実施する必要がある事務事業か	A 必要 (2点) B どちらかといえば必要 (1点) C 必要ではない (0点)	A	2点
2	重点事業との関連性	A 重点事業 (2点) B 一般事業 (1点)	B	1点
3	事務事業を休止・廃止した場合の影響は大きい	A 影響は大きい (2点) B 影響は小さい (1点) C 影響はない (0点)	A	2点
4	緊急性	A 緊急性は高い (2点) B 緊急性は低い (1点)	B	1点
5	他の事業との統合や民間委託等ができないか	A 検討の余地はない (2点) B 検討の余地がある (1点) C 可能である (0点)	A	2点
6	コスト縮減の余地	A 現状の手法しかない (2点) B 余地がある (1点)	A	2点
計		(10点以上=A、6~9点=B、5点以下=C)	A	10点
総合判定	<input checked="" type="checkbox"/> A 継続 B 見直し C 廃止・終了			

款	10 教育費	項	4 社会教育費	目	5 体育振興費																																																																									
事務事業名	スポーツ教室開設事業																																																																													
決算額(円)	財源内訳(円)																																																																													
259,000	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源																																																																									
					259,000																																																																									
事業目的	市民に対しスポーツを行う機会を提供することで、スポーツの普及、スポーツ技術の向上、健康増進を図る。																																																																													
事業内容及び成果	<p>年齢に合わせた各種スポーツ教室を開催した。</p> <p>スポーツ教室開設状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>教室名</th> <th>教室日</th> <th>会場</th> <th>参加人数</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="5">親子スポーツ教室</td> </tr> <tr> <td>親子スキー教室</td> <td>2月3日(土) 2月9日(土)</td> <td>国設スキー場</td> <td>延 20人</td> <td>親子でスキーの体験</td> </tr> <tr> <td colspan="5">子どもスポーツ教室</td> </tr> <tr> <td>子どもスキー教室</td> <td>1月12日(土) 1月13日(日)</td> <td>国設スキー場</td> <td>延 55人</td> <td>基礎指導</td> </tr> <tr> <td colspan="5">成人スポーツ教室</td> </tr> <tr> <td>ノルディック ウォーキング教室</td> <td>6月19日(火) ～7月24日(火)</td> <td>なまこ山総合運動公園</td> <td>延 96人</td> <td>ウォーキング指導 ノルディックウォーキング指導</td> </tr> <tr> <td>スロージョギング& ノルディックウォーキング教室</td> <td>11月6日(火) ～1月22日(火)</td> <td>総合体育館</td> <td>延 274人</td> <td>スロージョギング指導 ウォーキング指導 ノルディックウォーキング指導</td> </tr> <tr> <td>ストレッチ教室 (昼の部)</td> <td>9月11日(火) ～10月9日(火)</td> <td>総合体育館</td> <td>延 90人</td> <td>疲れや体のこりを解消するためのストレッチ教室</td> </tr> <tr> <td>ストレッチ教室 (夜の部)</td> <td>9月5日(水) ～10月3日(水)</td> <td>総合体育館</td> <td>延 71人</td> <td>疲れや体のこりを解消するためのストレッチ教室</td> </tr> <tr> <td colspan="5">巡回スポーツ教室</td> </tr> <tr> <td>ノルディック ウォーキング教室</td> <td>6月29日(金)</td> <td>なまこ山総合運動公園</td> <td rowspan="3">延 100人</td> <td>ノルディックウォーキング指導</td> </tr> <tr> <td>スキー教室</td> <td>12月26日(水)</td> <td>国設スキー場</td> <td>スキー指導</td> </tr> <tr> <td>スロージョギング 教室</td> <td>3月1日(金)</td> <td>総合体育館</td> <td>スロージョギング指導</td> </tr> <tr> <td colspan="3">合 計</td> <td>延 706人</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					教室名	教室日	会場	参加人数	内容	親子スポーツ教室					親子スキー教室	2月3日(土) 2月9日(土)	国設スキー場	延 20人	親子でスキーの体験	子どもスポーツ教室					子どもスキー教室	1月12日(土) 1月13日(日)	国設スキー場	延 55人	基礎指導	成人スポーツ教室					ノルディック ウォーキング教室	6月19日(火) ～7月24日(火)	なまこ山総合運動公園	延 96人	ウォーキング指導 ノルディックウォーキング指導	スロージョギング& ノルディックウォーキング教室	11月6日(火) ～1月22日(火)	総合体育館	延 274人	スロージョギング指導 ウォーキング指導 ノルディックウォーキング指導	ストレッチ教室 (昼の部)	9月11日(火) ～10月9日(火)	総合体育館	延 90人	疲れや体のこりを解消するためのストレッチ教室	ストレッチ教室 (夜の部)	9月5日(水) ～10月3日(水)	総合体育館	延 71人	疲れや体のこりを解消するためのストレッチ教室	巡回スポーツ教室					ノルディック ウォーキング教室	6月29日(金)	なまこ山総合運動公園	延 100人	ノルディックウォーキング指導	スキー教室	12月26日(水)	国設スキー場	スキー指導	スロージョギング 教室	3月1日(金)	総合体育館	スロージョギング指導	合 計			延 706人	
教室名	教室日	会場	参加人数	内容																																																																										
親子スポーツ教室																																																																														
親子スキー教室	2月3日(土) 2月9日(土)	国設スキー場	延 20人	親子でスキーの体験																																																																										
子どもスポーツ教室																																																																														
子どもスキー教室	1月12日(土) 1月13日(日)	国設スキー場	延 55人	基礎指導																																																																										
成人スポーツ教室																																																																														
ノルディック ウォーキング教室	6月19日(火) ～7月24日(火)	なまこ山総合運動公園	延 96人	ウォーキング指導 ノルディックウォーキング指導																																																																										
スロージョギング& ノルディックウォーキング教室	11月6日(火) ～1月22日(火)	総合体育館	延 274人	スロージョギング指導 ウォーキング指導 ノルディックウォーキング指導																																																																										
ストレッチ教室 (昼の部)	9月11日(火) ～10月9日(火)	総合体育館	延 90人	疲れや体のこりを解消するためのストレッチ教室																																																																										
ストレッチ教室 (夜の部)	9月5日(水) ～10月3日(水)	総合体育館	延 71人	疲れや体のこりを解消するためのストレッチ教室																																																																										
巡回スポーツ教室																																																																														
ノルディック ウォーキング教室	6月29日(金)	なまこ山総合運動公園	延 100人	ノルディックウォーキング指導																																																																										
スキー教室	12月26日(水)	国設スキー場		スキー指導																																																																										
スロージョギング 教室	3月1日(金)	総合体育館		スロージョギング指導																																																																										
合 計			延 706人																																																																											

次項へ続く

<事務事業評価結果>

1	市が実施する必要がある事務事業か	A 必要 (2点) B どちらかといえば必要 (1点) C 必要ではない (0点)	A	2点
2	重点事業との関連性	A 重点事業 (2点) B 一般事業 (1点)	B	1点
3	事務事業を休止・廃止した場合の影響は大きいか	A 影響は大きい (2点) B 影響は小さい (1点) C 影響はない (0点)	A	2点
4	緊急性	A 緊急性は高い (2点) B 緊急性は低い (1点)	B	1点
5	他の事業との統合や民間委託等はできないか	A 検討の余地はない (2点) B 検討の余地がある (1点) C 可能である (0点)	A	2点
6	コスト縮減の余地	A 現状の手法しかない (2点) B 余地がある (1点)	A	2点
計		(10点以上=A、6~9点=B、5点以下=C)	A	10点
総合判定	<input checked="" type="checkbox"/> A 継続 B 見直し C 廃止・終了			

款	10 教育費	項	4 社会教育費	目	5 体育振興費
事務事業名	健康都市宣言等事業				
決算額(円)	財源内訳(円)				
460,743	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源
					460,743
事業目的	健康都市宣言を記念する各種スポーツ大会を開催し、健康づくりを行なうとともに、スポーツの普及・発展・体力の増進を図る。				
事業内容及び成果	健康都市宣言記念大会等において各種スポーツ大会を開催した。				
	(1) 実施状況				
	種 目	実施期日	参加人員		
	チャレンジデー2018	5月30日(水)	7,197人		
	市民ラジオ体操会兼市民あるけあるけ運動	10月8日(月)	495人		
	スポーツ少年団交流会	10月8日(月)	359人		
	合 計		8,051人		
	(2) 委託内容				
	委 託 事 業	委 託 先	金 額	実施期日	参加人員
	市民スキー大会開催委託	芦別スキー連盟	139,895円	2月10日(日)	59人

<事務事業評価結果>

1	市が実施する必要がある事務事業か	A 必要(2点) B どちらかといえば必要(1点) C 必要ではない(0点)	A	2点
2	重点事業との関連性	A 重点事業(2点) B 一般事業(1点)	B	1点
3	事務事業を休止・廃止した場合の影響は大きい	A 影響は大きい(2点) B 影響は小さい(1点) C 影響はない(0点)	A	2点
4	緊急性	A 緊急性は高い(2点) B 緊急性は低い(1点)	B	1点
5	他の事業との統合や民間委託等はないか	A 検討の余地はない(2点) B 検討の余地がある(1点) C 可能である(0点)	A	2点
6	コスト削減の余地	A 現状の手法しかない(2点) B 余地がある(1点)	A	2点
計		(10点以上=A、6~9点=B、5点以下=C)	A	10点
総合判定	<input checked="" type="checkbox"/> A 継続 <input type="checkbox"/> B 見直し <input type="checkbox"/> C 廃止・終了			

款	10 教育費	項	4 社会教育費	目	5 体育振興費																																																						
事務事業名	B&G海洋センター事業																																																										
決算額(円)	財源内訳(円)																																																										
903,769	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源																																																						
					903,769																																																						
事業目的	水泳・海洋性スポーツ等を通じて水泳技術の向上と海事思想普及・健康・体力づくりを推進するとともに、地域住民相互のふれあい交流の場の提供を図ることを目的とする。																																																										
事業内容及び成果	<p>海洋クラブ・水連・B&Gと連携を取りながら、水泳教室、水泳記録会、大会等の派遣事業を実施した。</p> <p>(1) スポーツグループ養成教室の開放</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>教室名</th> <th>実施期間</th> <th>日数</th> <th>参加人員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>キッズスイミングクラブ(A)</td> <td>6月5日(火)～8月28日(火)</td> <td>12日</td> <td>延 124人</td> </tr> <tr> <td>キッズスイミングクラブ(B)</td> <td>6月7日(木)～8月30日(木)</td> <td>12日</td> <td>延 177人</td> </tr> <tr> <td>ジュニアスイミングクラブ(A)</td> <td>6月5日(火)～8月28日(火)</td> <td>12日</td> <td>延 516人</td> </tr> <tr> <td>ジュニアスイミングクラブ(B)</td> <td>6月6日(水)～8月29日(水)</td> <td>12日</td> <td>延 548人</td> </tr> <tr> <td>ジュニアスイミングクラブ(C)</td> <td>6月7日(木)～8月30日(木)</td> <td>12日</td> <td>延 258人</td> </tr> <tr> <td>ジュニアスイミングクラブ(育成)</td> <td>6月5日(火)～8月31日(金)</td> <td>24日</td> <td>延 207人</td> </tr> <tr> <td>シニアスイミングクラブ(A)</td> <td>6月4日(月)～9月3日(月)</td> <td>12日</td> <td>延 78人</td> </tr> <tr> <td>シニアスイミングクラブ(B)</td> <td>6月4日(月)～9月3日(月)</td> <td>12日</td> <td>延 81人</td> </tr> <tr> <td>水中エアロビクス教室</td> <td>6月2日(土)～7月7日(土)</td> <td>6日</td> <td>延 66人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td>114日</td> <td>延 2,055人</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 市民水泳記録会</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>実施期日</th> <th>種目数</th> <th>参加人員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>8月26日(日)</td> <td>11種目</td> <td>選手実人員 43人(延84人)、役員 27人、見学者 54人</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 委託事業(委託先 B&G芦別海洋クラブ)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>事業内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>B&Gスポーツ大会北海道大会等 選手派遣事業委託</td> <td>(水泳の部) 8月5日(日) 和寒町 12人参加</td> </tr> </tbody> </table>					教室名	実施期間	日数	参加人員	キッズスイミングクラブ(A)	6月5日(火)～8月28日(火)	12日	延 124人	キッズスイミングクラブ(B)	6月7日(木)～8月30日(木)	12日	延 177人	ジュニアスイミングクラブ(A)	6月5日(火)～8月28日(火)	12日	延 516人	ジュニアスイミングクラブ(B)	6月6日(水)～8月29日(水)	12日	延 548人	ジュニアスイミングクラブ(C)	6月7日(木)～8月30日(木)	12日	延 258人	ジュニアスイミングクラブ(育成)	6月5日(火)～8月31日(金)	24日	延 207人	シニアスイミングクラブ(A)	6月4日(月)～9月3日(月)	12日	延 78人	シニアスイミングクラブ(B)	6月4日(月)～9月3日(月)	12日	延 81人	水中エアロビクス教室	6月2日(土)～7月7日(土)	6日	延 66人	合計		114日	延 2,055人	実施期日	種目数	参加人員	8月26日(日)	11種目	選手実人員 43人(延84人)、役員 27人、見学者 54人	事業名	事業内容	B&Gスポーツ大会北海道大会等 選手派遣事業委託	(水泳の部) 8月5日(日) 和寒町 12人参加
教室名	実施期間	日数	参加人員																																																								
キッズスイミングクラブ(A)	6月5日(火)～8月28日(火)	12日	延 124人																																																								
キッズスイミングクラブ(B)	6月7日(木)～8月30日(木)	12日	延 177人																																																								
ジュニアスイミングクラブ(A)	6月5日(火)～8月28日(火)	12日	延 516人																																																								
ジュニアスイミングクラブ(B)	6月6日(水)～8月29日(水)	12日	延 548人																																																								
ジュニアスイミングクラブ(C)	6月7日(木)～8月30日(木)	12日	延 258人																																																								
ジュニアスイミングクラブ(育成)	6月5日(火)～8月31日(金)	24日	延 207人																																																								
シニアスイミングクラブ(A)	6月4日(月)～9月3日(月)	12日	延 78人																																																								
シニアスイミングクラブ(B)	6月4日(月)～9月3日(月)	12日	延 81人																																																								
水中エアロビクス教室	6月2日(土)～7月7日(土)	6日	延 66人																																																								
合計		114日	延 2,055人																																																								
実施期日	種目数	参加人員																																																									
8月26日(日)	11種目	選手実人員 43人(延84人)、役員 27人、見学者 54人																																																									
事業名	事業内容																																																										
B&Gスポーツ大会北海道大会等 選手派遣事業委託	(水泳の部) 8月5日(日) 和寒町 12人参加																																																										

次項へ続く

<事務事業評価結果>

1	市が実施する必要がある事務事業か	A 必要 (2点) B どちらかといえば必要 (1点) C 必要ではない (0点)	A	2点
2	重点事業との関連性	A 重点事業 (2点) B 一般事業 (1点)	B	1点
3	事務事業を休止・廃止した場合の影響は大きい	A 影響は大きい (2点) B 影響は小さい (1点) C 影響はない (0点)	A	2点
4	緊急性	A 緊急性は高い (2点) B 緊急性は低い (1点)	B	1点
5	他の事業との統合や民間委託等はできないか	A 検討の余地はない (2点) B 検討の余地がある (1点) C 可能である (0点)	A	2点
6	コスト削減の余地	A 現状の手法しかない (2点) B 余地がある (1点)	A	2点
計		(10点以上=A、6~9点=B、5点以下=C)	A	10点
総合判定	<input checked="" type="checkbox"/> A 継続 B 見直し C 廃止・終了			

款	10 教育費	項	4 社会教育費	目	5 体育振興費
事務事業名	各種体育団体助成事業				
決算額(円)	財源内訳(円)				
1,209,479	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源
				349,660	859,819
事業目的	各種体育団体の育成及びスポーツ振興、市民の健康増進を図ることを目的とする。				
事業内容及び成果	各種体育団体に対し、交付金または補助金を交付した。				
	(1) 団体交付				
	区 分	交 付 先	金 額		
	芦別市体育協会事業	芦別市体育協会	299,000円		
	(2) 芦別市スポーツ少年団対外競技出場補助				
	区 分	交 付 先	金 額		
	第21回北空知地区会長杯ミニバスケットボール大会	芦別バスケットボールスポーツ少年団	36,000円		
	第38回高円宮賜杯全日本学童野球大会	芦別ジュニアスターズスポーツ少年団	10,000円		
	第8回東日本小学生選抜ソフトテニス大会	芦別ソフトテニス少年団	93,000円		
	第35回全日本小学生ソフトテニス選手権大会	芦別ソフトテニス少年団	182,000円		
	北海道新聞社旗第12回空知少年野球選手権大会	芦別ジュニアスターズスポーツ少年団	23,000円		
	2018年会長杯争奪中・北空知少年野球選手権大会	芦別ジュニアスターズスポーツ少年団	6,000円		
	オオムラサキカップ争奪第25回くりやまサッカーフェスティバル	芦別サッカー少年団	31,000円		
	第39回北空知地区ミニバスケットボール大会兼第44回北海道ミニバスケットボール大会地区予選	芦別バスケットボールスポーツ少年団	11,000円		
	第16回北空知地区ミニバスケットボール交流大会	芦別バスケットボールスポーツ少年団	35,000円		
	オオムラサキカップ第28回くりやまフットサルフェスティバル(レギュラー・新人の部)	芦別サッカー少年団	47,000円		
	2019「6年生卒団記念」夕張フットサル大会	芦別サッカー少年団	54,000円		
	合 計	4団体 11大会	528,000円		
	(3) スポーツ振興事業補助				
	区 分	交 付 先	金 額		
	第36回全日本バウンドテニス選手権大会	芦別バウンドテニス協会	66,000円		
	ヨシカワ杯バウンドテニス大会	芦別バウンドテニス協会	8,000円		
	第71回全国高等学校バスケットボール選手権大会北海道予選会	芦別バスケットボール協会	50,465円		
	サントリーカップ第15回全国小学生ラグビー選手権大会	芦別ラグビーフットボール協会	149,154円		
	第30回都道府県対抗全日本中学生ソフトテニス大会	芦別ソフトテニス連盟	108,860円		
	合 計	4団体 5大会	382,479円		

次項へ続く

<事務事業評価結果>

1	市が実施する必要がある事務事業か	A 必要 (2点) B どちらかといえば必要 (1点) C 必要ではない (0点)	A	2点
2	重点事業との関連性	A 重点事業 (2点) B 一般事業 (1点)	B	1点
3	事務事業を休止・廃止した場合の影響は大きいか	A 影響は大きい (2点) B 影響は小さい (1点) C 影響はない (0点)	A	2点
4	緊急性	A 緊急性は高い (2点) B 緊急性は低い (1点)	B	1点
5	他の事業との統合や民間委託等ができないか	A 検討の余地はない (2点) B 検討の余地がある (1点) C 可能である (0点)	A	2点
6	コスト削減の余地	A 現状の手法しかない (2点) B 余地がある (1点)	A	2点
計		(10点以上=A、6~9点=B、5点以下=C)	A	10点
総合判定	<input checked="" type="checkbox"/> A 継続 <input type="checkbox"/> B 見直し <input type="checkbox"/> C 廃止・終了			

款	10 教育費	項	4 社会教育費	目	5 体育振興費
事務事業名	各種スポーツ大会等招致				
決算額(円)	財源内訳(円)				
2,700,830	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源
				666,000	2,034,830
事業目的	各種スポーツ大会等を招致し、スポーツの魅力やすばらしさを学ぶ機会を提供することにより、さらなるスポーツ意識の高揚を図る。				
事業内容及び成果	<p>1 2018日本プロ野球OBクラブベースボールサマーキャンプ</p> <p>(1) 開催日 8月8日(水)～10日(金)</p> <p>(2) 会場 市民球場、球技場</p> <p>(3) 講師 投手担当 有澤 賢持(元ヤクルト) 西崎 幸広(元日本ハム)、三井 浩二(元西武) 野手担当 高橋 慶彦(元広島)、本間 満(元ソフトバンク)、谷内田敦士(元読売)</p> <p>(4) 参加者 112人</p> <p>2 石屋製菓白い恋人杯第26回日刊スポーツ芦別少年フットサルフェスティバル</p> <p>(1) 開催日 11月23日(金)・24日(土)</p> <p>(2) 会場 総合体育館、勤労者体育センター、芦別中学校体育館、油谷体育館</p> <p>(3) 参加者 48チーム 選手536人、監督・コーチ167人</p>				

<事務事業評価結果>

1	市が実施する必要がある事務事業か	A 必要(2点) B どちらかといえば必要(1点) C 必要ではない(0点)	A	2点
2	重点事業との関連性	A 重点事業(2点) B 一般事業(1点)	B	1点
3	事務事業を休止・廃止した場合の影響は大きい	A 影響は大きい(2点) B 影響は小さい(1点) C 影響はない(0点)	A	2点
4	緊急性	A 緊急性は高い(2点) B 緊急性は低い(1点)	B	1点
5	他の事業との統合や民間委託等はできないか	A 検討の余地はない(2点) B 検討の余地がある(1点) C 可能である(0点)	A	2点
6	コスト削減の余地	A 現状の手法しかない(2点) B 余地がある(1点)	A	2点
計		(10点以上=A、6～9点=B、5点以下=C)	A	10点
総合判定	<input checked="" type="checkbox"/> A 継続 <input type="checkbox"/> B 見直し <input type="checkbox"/> C 廃止・終了			

款	10 教育費	項	4 社会教育費	目	6 施設管理費																												
事務事業名	学校体育施設開放事業																																
決算額(円)	財 源 内 訳 (円)																																
817,240	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源																												
					817,240																												
事業目的	地域住民のスポーツの活動の場として、小中学校の体育施設を地域住民に開放することを目的とする。																																
事業内容及び成果	<p>開放実施校において利用団体と期間・時間帯等の調整を行い、広報等を通じて市民周知を図り利用者の増加を図った。</p> <p>(1) 体育館利用状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学 校 名</th> <th>開放日数</th> <th>利用人員</th> <th>開 放 期 間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>芦別小学校</td> <td>136日</td> <td>3,265人</td> <td>5月 7日(月)～3月 1日(金)</td> </tr> <tr> <td>上芦別小学校</td> <td>138日</td> <td>1,831人</td> <td>5月 7日(月)～3月 1日(金)</td> </tr> <tr> <td>芦別中学校</td> <td>78日</td> <td>1,292人</td> <td>10月15日(月)～3月 1日(金)</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>352日</td> <td>6,388人</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) プール利用状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学校名</th> <th>開放日数</th> <th>利用人員</th> <th>開 放 期 間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>上芦別小学校</td> <td>36日</td> <td>83人</td> <td>7月 5日(木)～8月18日(土)</td> </tr> </tbody> </table>					学 校 名	開放日数	利用人員	開 放 期 間	芦別小学校	136日	3,265人	5月 7日(月)～3月 1日(金)	上芦別小学校	138日	1,831人	5月 7日(月)～3月 1日(金)	芦別中学校	78日	1,292人	10月15日(月)～3月 1日(金)	合 計	352日	6,388人		学校名	開放日数	利用人員	開 放 期 間	上芦別小学校	36日	83人	7月 5日(木)～8月18日(土)
学 校 名	開放日数	利用人員	開 放 期 間																														
芦別小学校	136日	3,265人	5月 7日(月)～3月 1日(金)																														
上芦別小学校	138日	1,831人	5月 7日(月)～3月 1日(金)																														
芦別中学校	78日	1,292人	10月15日(月)～3月 1日(金)																														
合 計	352日	6,388人																															
学校名	開放日数	利用人員	開 放 期 間																														
上芦別小学校	36日	83人	7月 5日(木)～8月18日(土)																														

<事務事業評価結果>

1	市が実施する必要がある事務事業か	A 必要(2点) B どちらかといえば必要(1点) C 必要ではない(0点)	A	2点
2	重点事業との関連性	A 重点事業(2点) B 一般事業(1点)	B	1点
3	事務事業を休止・廃止した場合の影響は大きい	A 影響は大きい(2点) B 影響は小さい(1点) C 影響はない(0点)	A	2点
4	緊急性	A 緊急性は高い(2点) B 緊急性は低い(1点)	B	1点
5	他の事業との統合や民間委託等はないか	A 検討の余地はない(2点) B 検討の余地がある(1点) C 可能である(0点)	A	2点
6	コスト縮減の余地	A 現状の手法しかない(2点) B 余地がある(1点)	A	2点
計		(10点以上=A、6～9点=B、5点以下=C)	A	10点
総合判定	<input checked="" type="checkbox"/> A 継続 <input type="checkbox"/> B 見直し <input type="checkbox"/> C 廃止・終了			

款	10 教育費	項	4 社会教育費	目	6 施設管理費					
事務事業名	各種社会体育施設管理運営業務									
決算額(円)	財 源 内 訳 (円)									
19,709,196	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源					
				1,004,347	18,704,849					
事業目的	市民の心身の健全な発達及び体育の普及振興を図るため、スポーツを行う場を提供し、体力・健康を増進することを目的とする。									
事業内容及び成果	各種社会体育施設の現状・利用状況等を把握し、市民がより快適に利用できるよう適切な管理運営を行った。									
	(1) 各種社会体育施設利用者数									
	施設名	利用期間	利用者	対前年比	使用料					
	勤労者体育センター	通年	12,241人	567人	690,628円					
	本町テニスコート	5月～10月	624人	△20人						
	上芦別球場	5月～10月	936人	△114人	20,160円					
	合 計		13,801人	433人	710,788円					
	(2) 芦別市B&G海洋センター利用状況									
	延 利 用 人 員						開 設	一日平均	使用料金	
	幼児	小学生	中学生	高校生	一 般	見学者	合 計	日 数		利用者数
	469人	1,881人	213人	53人	1,581人	710人	4,907人	102日間	48.1人	238,960円

<事務事業評価結果>

1	市が実施する必要がある事務事業か	A 必要(2点) B どちらかといえば必要(1点) C 必要ではない(0点)	A	2点
2	重点事業との関連性	A 重点事業(2点) B 一般事業(1点)	B	1点
3	事務事業を休止・廃止した場合の影響は大きい	A 影響は大きい(2点) B 影響は小さい(1点) C 影響はない(0点)	A	2点
4	緊急性	A 緊急性は高い(2点) B 緊急性は低い(1点)	B	1点
5	他の事業との統合や民間委託等はできないか	A 検討の余地はない(2点) B 検討の余地がある(1点) C 可能である(0点)	B	1点
6	コスト削減の余地	A 現状の手法しかない(2点) B 余地がある(1点)	A	2点
計		(10点以上=A、6～9点=B、5点以下=C)	B	9点
総合判定	A 継続 B 見直し C 廃止・終了			
備考	市民が体力・健康増進のため利用しやすい環境を維持するため、今後も適正に施設の管理を行っていく。なお、行財政改革を進めるにあたり、将来の施設管理のあり方については検討を進める。			

款	10 教育費	項	4 社会教育費	目	7 総合運動公園体育施設管理費	
事務事業名	総合運動公園維持管理業務					
決算額(円)	財源内訳(円)					
100,389,641	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源	
				6,407,299	93,982,342	
事業目的	市民の心身の健全な発達及び体育の普及振興を図るため、スポーツを行う場を提供し、地域のスポーツ振興と交流人口の拡大に資する。					
事業内容及び成果	各体育施設の管理業務については、専門的な知識を有している業者へ委託することで良好な状態を保つことができ、一般利用のほか、大会・合宿の受け入れも円滑に行った。					
	(1) なまこ山総合運動公園利用者数					
	施設名	利用者数	うち共用利用	うち専用利用	対前年比	平成29年度
	総合体育館	57,726人	13,908人	43,818人	8,807人	48,919人
	陸上競技場	7,442人	1,478人	5,964人	△155人	7,597人
	市民球場	6,358人		6,358人	886人	5,472人
	球技場	0人		0人	0人	0人
	パークゴルフ場	10,765人	10,253人	512人	△1,274人	12,039人
	歩くスキーコース	95人	95人		△13人	108人
	合計	82,386人	25,734人	56,652人	8,251人	74,135人
	※ 球技場～平成30年度は芝生整備に係る養生のため、利用休止とした。					
	(2) 各種施設における主な大会					
	施設名	主な大会			利用人数	
	総合体育館	第11回空知支部高等学校卓球大会兼第71回北海道高等学校卓球選手権大会空知支部予選(5月23日(水)～5月25日(金))			600人	
		第35回北空知地区夏季ミニバスケットボール大会兼第39回全道夏季交歓大会地区予選(6月16日(土)～6月17日(日))			520人	
		北海道中学校体育大会北空知中学校バレーボール競技大会(7月3日(月)～7月4日(水))			540人	
		第59回全道市役所バレーボール選手権大会(8月25日(土)～8月26日(日))			400人	
		第40回北海道高等学校弓道選抜大会北北海道大会(10月5日(土)～10月7日(日))			240人	
	陸上競技場	北空知中学校陸上競技大会(6月5日(火))			450人	
		市内教育振興会新体力テスト記録会(6月19日(火))			250人	
		高円宮杯JFAU-18サッカー2018北海道ブロックリーグ道央(6月23日(土)～6月24日(日))			250人	
		第97回全国高等学校サッカー選手権大会北空知予選大会(8月18日(土)～8月19日(日))			200人	
		第3回芦別ロータリークラブ杯U-10北空知少年サッカー大会(8月26日(日))			250人	
	市民球場	JA全農杯チビリンピック小学生8人制サッカー大会北空知地区予選(9月8日(土)～9月9日(日))			250人	
		第57回春季北海道高等学校野球大会空知支部予選(5月12日(土)～5月15日(火)・5月20日(日)～5月21日(月))			2,400人	
	パークゴルフ場	第47回全道少年野球大会北空知支部予選(7月7日(土)～7月8日(日))			280人	
		社会を明るくする運動PG大会(7月9日(月))			100人	
		第7回芦別市なまこ山総合運動公園杯PG大会(10月15日(月))			100人	

次項へ続く

(3) 施設整備事業

総合運動公園敷地内道路舗装補修工事 14,040,000円

工事延長 L=368m、幅員 W=6.00m~7.00m、オーバーレイ A=3,000m²

<事務事業評価結果>

1	市が実施する必要がある事務事業か	A 必要 (2点) B どちらかといえば必要 (1点) C 必要ではない (0点)	A	2点
2	重点事業との関連性	A 重点事業 (2点) B 一般事業 (1点)	B	1点
3	事務事業を休止・廃止した場合の影響は大きいか	A 影響は大きい (2点) B 影響は小さい (1点) C 影響はない (0点)	A	2点
4	緊急性	A 緊急性は高い (2点) B 緊急性は低い (1点)	B	1点
5	他の事業との統合や民間委託等ができないか	A 検討の余地はない (2点) B 検討の余地がある (1点) C 可能である (0点)	B	1点
6	コスト削減の余地	A 現状の手法しかない (2点) B 余地がある (1点)	A	2点
計		(10点以上=A、6~9点=B、5点以下=C)	B	9点
総合判定	A 継続 B 見直し C 廃止・終了			
備考	市民が体力・健康増進のため利用しやすい環境を維持するため、今後も適正に施設の管理を行っていく。なお、行財政改革を進めるにあたり、将来の施設管理のあり方について検討を進める。			

款	10 教育費	項	4 社会教育費	目	8 市民会館・青年センター費
事務事業名	市民会館・青年センター管理運営業務				
決算額(円)	財源内訳(円)				
37,616,397	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源
				3,135,731	34,480,666
事業目的	社会教育の拠点施設として、管理運営を適切に行い、市民への学習機会の場を提供することを目的とする。				
事業内容及び成果	老朽箇所等の修繕をしながら、市民会館及び青年センターの管理運営を行った。				
	(1) 市民会館利用状況				
	区分	件数	利用人員	月平均	使用料
	大ホール	135件	12,955人	1,080人	1,502,264円
	中ホール	235件	6,735人	561人	329,638円
	その他	54件	928人	77人	69,231円
	合計	424件	20,618人	1,718人	1,901,133円
	(2) 青年センター利用状況				
	区分	件数	利用人員	月平均	使用料
	体育館	個人	5,144人	429人	233,962円
		団体	66件	5,059人	
	研修室・和室	910件	12,008人	1,001人	869,209円
	合計	976件	22,211人	1,851人	1,103,171円
	(3) 施設改修関係				
	施設名	主な改修内容			
	市民会館・青年センター	① 市民会館自動ドア修繕 ② 青年センターボイラー蒸気ヘッダーバルブ取替修繕 ③ 市民会館・青年センター消防用設備等修繕 ④ 市民会館ホール渡り廊下天井裏雨水配管修繕 ⑤ 青年センター外壁塗装剥がし修繕 ⑥ 青年センター裏口ドア取替修繕			

次項へ続く

款	10 教育費	項	4 社会教育費	目	8 市民会館・青年センター費
事務事業名	社会教育施設有効活用業務				
決算額(円)	財 源 内 訳 (円)				
0	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源
事業目的	社会教育施設を有効的に活用し、市民の生涯学習活動に対する効果的な支援をする。				
事業内容及び成果	各社会教育施設において、各種イベントや展覧会を開催するなど、施設の有効活用に努めた。				

<事務事業評価結果>

1	市が実施する必要がある事務事業か	A 必要 (2点) B どちらかといえば必要 (1点) C 必要ではない (0点)	A	2点
2	重点事業との関連性	A 重点事業 (2点) B 一般事業 (1点)	B	1点
3	事務事業を休止・廃止した場合の影響は大きい	A 影響は大きい (2点) B 影響は小さい (1点) C 影響はない (0点)	A	2点
4	緊急性	A 緊急性は高い (2点) B 緊急性は低い (1点)	B	1点
5	他の事業との統合や民間委託等はできないか	A 検討の余地はない (2点) B 検討の余地がある (1点) C 可能である (0点)	A	2点
6	コスト縮減の余地	A 現状の手法しかない (2点) B 余地がある (1点)	A	2点
計		(10点以上=A、6~9点=B、5点以下=C)	A	10点
総合判定	<input checked="" type="checkbox"/> A 継続 B 見直し C 廃止・終了			

款	10 教育費	項	4 社会教育費	目	9 図書館費																		
事務事業名	図書館管理運営業務																						
決算額(円)	財 源 内 訳 (円)																						
9,109,162	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源																		
				61,842	9,047,320																		
事業目的	図書館施設の維持管理及び施設周辺の環境整備を適切に行い、市民の教養と文化の発展に寄与することを目的とする。																						
事業内容及び成果	適切な維持管理の実施、計画的な設備機器の更新、適切な図書館運営の実施 利用状況 ① 図書館年間入館者数 27,504人(1日平均 95人)																						
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>年間利用者数</th> <th>貸出冊数</th> <th>AV利用者数</th> <th>開館日数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>児 童</td> <td>4,373人</td> <td>6,988冊</td> <td>885人</td> <td rowspan="3">290日</td> </tr> <tr> <td>一 般</td> <td>23,131人</td> <td>64,517冊</td> <td>1,308人</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>27,504人</td> <td>71,505冊</td> <td>2,193人</td> </tr> </tbody> </table>					区 分	年間利用者数	貸出冊数	AV利用者数	開館日数	児 童	4,373人	6,988冊	885人	290日	一 般	23,131人	64,517冊	1,308人	計	27,504人	71,505冊	2,193人
区 分	年間利用者数	貸出冊数	AV利用者数	開館日数																			
児 童	4,373人	6,988冊	885人	290日																			
一 般	23,131人	64,517冊	1,308人																				
計	27,504人	71,505冊	2,193人																				
	② 移動図書館車年間利用数																						
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>貸出冊数</th> <th>巡回数</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>児 童</td> <td>433冊</td> <td rowspan="3">306回</td> <td rowspan="3">ステーション数 13箇所</td> </tr> <tr> <td>一 般</td> <td>3,861冊</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>4,294冊</td> </tr> </tbody> </table>					区 分	貸出冊数	巡回数	備考	児 童	433冊	306回	ステーション数 13箇所	一 般	3,861冊	計	4,294冊						
区 分	貸出冊数	巡回数	備考																				
児 童	433冊	306回	ステーション数 13箇所																				
一 般	3,861冊																						
計	4,294冊																						

<事務事業評価結果>

1	市が実施する必要がある事務事業か	A 必要(2点) B どちらかといえば必要(1点) C 必要ではない(0点)	A	2点
2	重点事業との関連性	A 重点事業(2点) B 一般事業(1点)	B	1点
3	事務事業を休止・廃止した場合の影響は大きいのか	A 影響は大きい(2点) B 影響は小さい(1点) C 影響はない(0点)	A	2点
4	緊急性	A 緊急性は高い(2点) B 緊急性は低い(1点)	B	1点
5	他の事業との統合や民間委託等はできないか	A 検討の余地はない(2点) B 検討の余地がある(1点) C 可能である(0点)	B	1点
6	コスト縮減の余地	A 現状の手法しかない(2点) B 余地がある(1点)	B	1点
計		(10点以上=A、6~9点=B、5点以下=C)	B	8点
総合判定	A 継続 B 見直し C 廃止・終了			
備 考	利用者のニーズに即した読書環境を整備するとともに、今後も適正に施設の管理を行っていく。 なお、行財政改革を進めるにあたり、図書館の運営については、民間委託を行っている先進地等を視察するなど情報収集を図り、指定管理者制度の導入を検討する。			

款	10 教育費	項	4 社会教育費	目	9 図書館費																																																																										
事務事業名	読書普及活動																																																																														
決算額(円)	財源内訳(円)																																																																														
3,613,615	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源																																																																										
					3,613,615																																																																										
事業目的	各種事業を展開し、読書の普及に努める。																																																																														
事業内容及び成果	<p>小・中学校との連携を深め、利用者の増加に努めた。</p> <p>(1) 備品整備 図書及び視聴覚資料・庁用器具等の購入</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>数量</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般及び児童図書</td> <td>1,452冊</td> <td>2,363,078円</td> </tr> <tr> <td>DVD</td> <td>22巻</td> <td>241,301円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td>2,604,379円</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 図書館行事実施状況</p> <p>① 図書館行事</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>実施区分</th> <th>事業名</th> <th>実施日等</th> <th>開催時間</th> <th>参加者数等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">毎月</td> <td>絵本読み聞かせ会</td> <td>毎週土曜日 (第4土曜日を除く)</td> <td>14:00~15:00</td> <td>29回 90人</td> </tr> <tr> <td>えほんおはなし会</td> <td>毎月2回</td> <td>11:00~11:30</td> <td>24回 93人</td> </tr> <tr> <td rowspan="8">年1回</td> <td>ぬいぐるみの図書館おとまり会</td> <td>6月16日(土)~ 6月23日(土)</td> <td>14:00~15:00</td> <td>48人</td> </tr> <tr> <td>図書館一日司書体験</td> <td>7月7日(土)</td> <td>13:00~16:00</td> <td>5人</td> </tr> <tr> <td>夜のとしょかんたんけん隊</td> <td>6月30日(土)~ 7月1日(日) 9月1日(土)~ 9月2日(日)</td> <td>19:00~翌日9:00</td> <td>16人</td> </tr> <tr> <td>読書週間おたのしみ会</td> <td>10月27日(土)</td> <td>14:00~15:30</td> <td>32人</td> </tr> <tr> <td>お宝本発掘市</td> <td>12月1日(土)</td> <td>14:00~15:30</td> <td>115人</td> </tr> <tr> <td>クリスマス会</td> <td>12月22日(土)</td> <td>14:00~15:00</td> <td>42人</td> </tr> <tr> <td>S Pレコード鑑賞会</td> <td>3月3日(日)</td> <td>14:00~15:30</td> <td>36人</td> </tr> <tr> <td>オマチマンの親子コンサート</td> <td>3月16日(土)</td> <td>14:00~15:00</td> <td>32人</td> </tr> <tr> <td>年5回</td> <td>ブックスタート事業</td> <td>B C G接種時</td> <td>13:00~</td> <td>38人</td> </tr> </tbody> </table> <p>② ボランティアによる行事</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>実施区分</th> <th>事業名</th> <th>実施日等</th> <th>開催時間</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>年1回</td> <td>古本市</td> <td>5月20日(日)</td> <td>14:00~15:30</td> <td>101人</td> </tr> </tbody> </table>					区分	数量	金額	一般及び児童図書	1,452冊	2,363,078円	DVD	22巻	241,301円	合計		2,604,379円	実施区分	事業名	実施日等	開催時間	参加者数等	毎月	絵本読み聞かせ会	毎週土曜日 (第4土曜日を除く)	14:00~15:00	29回 90人	えほんおはなし会	毎月2回	11:00~11:30	24回 93人	年1回	ぬいぐるみの図書館おとまり会	6月16日(土)~ 6月23日(土)	14:00~15:00	48人	図書館一日司書体験	7月7日(土)	13:00~16:00	5人	夜のとしょかんたんけん隊	6月30日(土)~ 7月1日(日) 9月1日(土)~ 9月2日(日)	19:00~翌日9:00	16人	読書週間おたのしみ会	10月27日(土)	14:00~15:30	32人	お宝本発掘市	12月1日(土)	14:00~15:30	115人	クリスマス会	12月22日(土)	14:00~15:00	42人	S Pレコード鑑賞会	3月3日(日)	14:00~15:30	36人	オマチマンの親子コンサート	3月16日(土)	14:00~15:00	32人	年5回	ブックスタート事業	B C G接種時	13:00~	38人	実施区分	事業名	実施日等	開催時間	参加者数	年1回	古本市	5月20日(日)	14:00~15:30	101人
区分	数量	金額																																																																													
一般及び児童図書	1,452冊	2,363,078円																																																																													
DVD	22巻	241,301円																																																																													
合計		2,604,379円																																																																													
実施区分	事業名	実施日等	開催時間	参加者数等																																																																											
毎月	絵本読み聞かせ会	毎週土曜日 (第4土曜日を除く)	14:00~15:00	29回 90人																																																																											
	えほんおはなし会	毎月2回	11:00~11:30	24回 93人																																																																											
年1回	ぬいぐるみの図書館おとまり会	6月16日(土)~ 6月23日(土)	14:00~15:00	48人																																																																											
	図書館一日司書体験	7月7日(土)	13:00~16:00	5人																																																																											
	夜のとしょかんたんけん隊	6月30日(土)~ 7月1日(日) 9月1日(土)~ 9月2日(日)	19:00~翌日9:00	16人																																																																											
	読書週間おたのしみ会	10月27日(土)	14:00~15:30	32人																																																																											
	お宝本発掘市	12月1日(土)	14:00~15:30	115人																																																																											
	クリスマス会	12月22日(土)	14:00~15:00	42人																																																																											
	S Pレコード鑑賞会	3月3日(日)	14:00~15:30	36人																																																																											
	オマチマンの親子コンサート	3月16日(土)	14:00~15:00	32人																																																																											
年5回	ブックスタート事業	B C G接種時	13:00~	38人																																																																											
実施区分	事業名	実施日等	開催時間	参加者数																																																																											
年1回	古本市	5月20日(日)	14:00~15:30	101人																																																																											

次項へ続く

③ 視聴覚関係行事

実施区分	事業名	実施日等	開催時間	参加者数等
毎月	こども映画会	毎週第4土曜日	14:00～15:00	11回 16人
	おもひで映画館	毎月2回	14:00～	23回 150人
年1回	「こどもの日」映画会 「白雪姫」ほか(計3作)	5月3日(木)	14:00～	30人
	「原爆の日」映画会 「火垂るの墓」	8月4日(土)	14:00～15:28	4人
	「映画の日」特別上映会	12月2日(日)	10:00～	17人
	映像でつづる芦別の歴史(15弾)「ふるさと滝里」	2月16日(土)	14:00～15:30	57人

④ 展示

【展示(階段・2階ラウンジ) 732人】

実施月	内容	観覧者
4月	和紙ちぎり絵「虹の会・慈恵園ハイビスカス」作品展	108人
5月	和紙人形サークル作品展	48人
6月	芦別市俳句連盟作品展	28人
7月	古瀬勉・眞田初美作品展	120人
8月	芦別市書道連盟小品展	35人
9月	花実絵と夢ロゴアート	55人
10月	絵手紙の会 福寿草	73人
11月	佳香会書道展	34人
12月	北海道写真協会芦別支部作品展	47人
1月	芦美会小作品展	61人
2月	芦別ペン字サークル作品展	34人
3月	日本習字芦別支部作品展	89人

次頁へ続く

【展示（ガラスケース）】

実施月	内 容
4月	POOH熊谷の模型作品
5月	和紙人形サークル作品展
6月	絵本のぬいぐるみ
7月	木目込み人形サークル作品展
8月	日本の郷土玩具 瀬戸内編
9月	手作りミニチュアハウス
10月	レース編み
11月	パッチワークサークル作品展
12月	粘土細工作品展
1月	トールペイント作品展
2月	スクラッチアート
3月	カントリーサインでめぐる北海道

【特別展示（一般閲覧室）】

実施月	内 容
5月	ポップアップ絵本展
6月	食育（健康推進課）
7月	ねこ猫ネコ写真展
2月	ふるさと滝里
3月	自殺予防（健康推進課）

⑤ 出前講座・絵本講座

内 容	参加者数等
ピヨピヨ	4回 16組
遊びの広場	1回 7組
女性大学	0回 0人

次項へ続く

款	10 教育費	項	4 社会教育費	目	9 図書館費																								
事務事業名	視聴覚ライブラリー運営事務																												
決算額(円)	財源内訳(円)																												
263,580	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源																								
					263,580																								
事業目的	図書館活動の一環として、充実した視聴覚資料を提供し、社会教育・学校教育の充実を図る。																												
事業内容及び成果	<p>広報・ホームページ等で情報の提供を図った。</p> <p>(1) 映像資料整備(購入)</p> <table border="1"> <tr> <th>教材名</th> <th>数量等</th> </tr> <tr> <td>DVD</td> <td>22巻</td> </tr> </table> <p>(2) 利用状況</p> <p>① 教材別利用状況</p> <table border="1"> <tr> <th>16ミリフィルム</th> <th>C D</th> <th>DVD</th> <th>ビデオ(VHS)</th> <th>合計</th> </tr> <tr> <td>0人</td> <td>3人</td> <td>1,192人</td> <td>675人</td> <td>1,870人</td> </tr> </table> <p>② 対象別利用状況</p> <table border="1"> <tr> <th>小学校</th> <th>中学校</th> <th>社会教育</th> <th>一般</th> <th>合計</th> </tr> <tr> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>4件</td> <td>1,866件</td> <td>1,870件</td> </tr> </table>					教材名	数量等	DVD	22巻	16ミリフィルム	C D	DVD	ビデオ(VHS)	合計	0人	3人	1,192人	675人	1,870人	小学校	中学校	社会教育	一般	合計	0件	0件	4件	1,866件	1,870件
教材名	数量等																												
DVD	22巻																												
16ミリフィルム	C D	DVD	ビデオ(VHS)	合計																									
0人	3人	1,192人	675人	1,870人																									
小学校	中学校	社会教育	一般	合計																									
0件	0件	4件	1,866件	1,870件																									

<事務事業評価結果>

1	市が実施する必要がある事務事業か	A 必要(2点) B どちらかといえば必要(1点) C 必要ではない(0点)	A	2点
2	重点事業との関連性	A 重点事業(2点) B 一般事業(1点)	B	1点
3	事務事業を休止・廃止した場合の影響は大きい	A 影響は大きい(2点) B 影響は小さい(1点) C 影響はない(0点)	A	2点
4	緊急性	A 緊急性は高い(2点) B 緊急性は低い(1点)	B	1点
5	他の事業との統合や民間委託等はできないか	A 検討の余地はない(2点) B 検討の余地がある(1点) C 可能である(0点)	B	1点
6	コスト削減の余地	A 現状の手法しかない(2点) B 余地がある(1点)	B	1点
計		(10点以上=A、6~9点=B、5点以下=C)	B	8点
総合判定	A 継続 B 見直し C 廃止・終了			
備考	<p>今後も視聴覚施設についてPRを行い、利用者の増加を図っていく。</p> <p>なお、行財政改革を進めるにあたり、図書館の運営については、民間委託を行っている先進地等を視察するなど情報収集を図り、指定管理者制度の導入を検討する。</p>			

款	10 教育費	項	4 社会教育費	目	10 星の降る里百年記念館費																																																																			
事務事業名	星の降る里百年記念館管理運営業務																																																																							
決算額(円)	財 源 内 訳 (円)																																																																							
9,617,567	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源																																																																			
				1,680,373	7,937,194																																																																			
事業目的	教育及び学術文化と地域の活性化に寄与するため、郷土の自然、歴史、文化に係るあらゆる文化財を収集、保管、調査研究し、展示や教育普及活動に活かし、合わせて学習情報提供事業を行う。																																																																							
事業内容及び成果	<p>建物本体及び設備機器の適正な管理を行い、収蔵している文化財の適切な保存を行ったほか、展示物や収蔵品の調査研究に基づき、特別展や教育普及活動を実施した。</p> <p>(1) 入館者の状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>有 料</th> <th>無料(減免)</th> <th>特 別 展</th> <th>合 計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2,247人</td> <td>1,021人</td> <td>4,935人</td> <td>8,203人</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 施設の利用状況(研修室・多目的ホール)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>件 数</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>研修会</td> <td>5件</td> <td>129人</td> </tr> <tr> <td>会議・協議会等</td> <td>3件</td> <td>33人</td> </tr> <tr> <td>講座・講習会等</td> <td>4件</td> <td>67人</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>12件</td> <td>229人</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 特別展実施事業(展示会の開催)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事 業 名</th> <th>実施期間</th> <th>観覧者数</th> <th>事業実施団体名等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>和紙織染展(不思議少女友記乃の世界)</td> <td>4月 7日～ 4月29日</td> <td>419人</td> <td>アトゥーリエ√3</td> </tr> <tr> <td>写真展</td> <td>5月 2日～ 5月30日</td> <td>691人</td> <td>芦別写真塾</td> </tr> <tr> <td>写真展</td> <td>6月 1日～ 6月30日</td> <td>525人</td> <td>道写協芦別支部</td> </tr> <tr> <td>絵手紙展</td> <td>7月 3日～ 7月29日</td> <td>614人</td> <td>絵手紙の会「福寿草」</td> </tr> <tr> <td>記念品あれこれ</td> <td>8月 4日～ 8月29日</td> <td>1,108人</td> <td>芦別市 主催事業 企画展</td> </tr> <tr> <td>POOH熊谷と仲間たちの模型作品展</td> <td>9月 1日～ 9月15日</td> <td>614人</td> <td>熊谷武彦と模型仲間</td> </tr> <tr> <td>空知六市書道展</td> <td>9月16日～ 9月23日</td> <td>141人</td> <td>芦別市書道連盟</td> </tr> <tr> <td>絵画展</td> <td>10月13日～11月 4日</td> <td>438人</td> <td>芦美会</td> </tr> <tr> <td>フォトコンテスト2018応募写真展示会</td> <td>11月 8日～11月25日</td> <td>385人</td> <td>芦別商工会議所</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td></td> <td>4,935人</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					有 料	無料(減免)	特 別 展	合 計	2,247人	1,021人	4,935人	8,203人	区 分	件 数	参加人数	研修会	5件	129人	会議・協議会等	3件	33人	講座・講習会等	4件	67人	合 計	12件	229人	事 業 名	実施期間	観覧者数	事業実施団体名等	和紙織染展(不思議少女友記乃の世界)	4月 7日～ 4月29日	419人	アトゥーリエ√3	写真展	5月 2日～ 5月30日	691人	芦別写真塾	写真展	6月 1日～ 6月30日	525人	道写協芦別支部	絵手紙展	7月 3日～ 7月29日	614人	絵手紙の会「福寿草」	記念品あれこれ	8月 4日～ 8月29日	1,108人	芦別市 主催事業 企画展	POOH熊谷と仲間たちの模型作品展	9月 1日～ 9月15日	614人	熊谷武彦と模型仲間	空知六市書道展	9月16日～ 9月23日	141人	芦別市書道連盟	絵画展	10月13日～11月 4日	438人	芦美会	フォトコンテスト2018応募写真展示会	11月 8日～11月25日	385人	芦別商工会議所	合 計		4,935人	
有 料	無料(減免)	特 別 展	合 計																																																																					
2,247人	1,021人	4,935人	8,203人																																																																					
区 分	件 数	参加人数																																																																						
研修会	5件	129人																																																																						
会議・協議会等	3件	33人																																																																						
講座・講習会等	4件	67人																																																																						
合 計	12件	229人																																																																						
事 業 名	実施期間	観覧者数	事業実施団体名等																																																																					
和紙織染展(不思議少女友記乃の世界)	4月 7日～ 4月29日	419人	アトゥーリエ√3																																																																					
写真展	5月 2日～ 5月30日	691人	芦別写真塾																																																																					
写真展	6月 1日～ 6月30日	525人	道写協芦別支部																																																																					
絵手紙展	7月 3日～ 7月29日	614人	絵手紙の会「福寿草」																																																																					
記念品あれこれ	8月 4日～ 8月29日	1,108人	芦別市 主催事業 企画展																																																																					
POOH熊谷と仲間たちの模型作品展	9月 1日～ 9月15日	614人	熊谷武彦と模型仲間																																																																					
空知六市書道展	9月16日～ 9月23日	141人	芦別市書道連盟																																																																					
絵画展	10月13日～11月 4日	438人	芦美会																																																																					
フォトコンテスト2018応募写真展示会	11月 8日～11月25日	385人	芦別商工会議所																																																																					
合 計		4,935人																																																																						

次項へ続く

款	10 教育費	項	4 社会教育費	目	10 星の降る里百年記念館費
事務事業名	文化財保護事業				
決算額(円)	財 源 内 訳 (円)				
245,920	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源
					245,920
事業目的	文化財の保護及び教育的活用の促進を図る。				
事業内容及び成果	適切な保護、保存を図るための環境を整備し、文化財の保護及び教育的活用を行った。				

<事務事業評価結果>

1	市が実施する必要がある事務事業か	A 必要 (2点) B どちらかといえば必要 (1点) C 必要ではない (0点)	A	2点
2	重点事業との関連性	A 重点事業 (2点) B 一般事業 (1点)	B	1点
3	事務事業を休止・廃止した場合の影響は大きい	A 影響は大きい (2点) B 影響は小さい (1点) C 影響はない (0点)	A	2点
4	緊急性	A 緊急性は高い (2点) B 緊急性は低い (1点)	A	2点
5	他の事業との統合や民間委託等はないか	A 検討の余地はない (2点) B 検討の余地がある (1点) C 可能である (0点)	A	2点
6	コスト削減の余地	A 現状の手法しかない (2点) B 余地がある (1点)	A	2点
計		(10点以上=A、6~9点=B、5点以下=C)	A	11点
総合判定	<input checked="" type="checkbox"/> A 継続 <input type="checkbox"/> B 見直し <input type="checkbox"/> C 廃止・終了			

款	10 教育費	項	4 社会教育費	目	11 合宿振興費																																																														
事務事業名	合宿振興事業																																																																		
決算額(円)	財源内訳(円)																																																																		
14,703,331	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源																																																														
				11,296,903	3,406,428																																																														
事業目的	スポーツ・文化合宿の誘致・受入れを行い、スポーツ及び文化の振興並びに地域の活性化を図る。																																																																		
事業内容及び成果	<p>全日本、実業団クラスの受入れのほか、大学・高校等の合宿が快適に実施できるよう施設の適切な管理運営を行った。</p> <p>(1) 合宿事業（あしべつ宿泊交流センター・スターライトホテル等）</p> <table border="0"> <tr> <td>① 実業団バレーボールJTマーヴェラス</td> <td>(12泊13日)</td> <td>延参加人数</td> <td>278人</td> </tr> <tr> <td>② エスポラーダ北海道</td> <td>(1泊2日)</td> <td>延参加人数</td> <td>40人</td> </tr> <tr> <td>③ 北海道バレーボール協会事業(年5回実施)</td> <td>(19泊24日)</td> <td>延参加人数</td> <td>6,171人</td> </tr> <tr> <td>④ 北海道大学バドミントン部</td> <td>(6泊7日)</td> <td>延参加人数</td> <td>155人</td> </tr> <tr> <td>⑤ 北海道大学武田流中村派合気道部</td> <td>(5泊6日)</td> <td>延参加人数</td> <td>108人</td> </tr> <tr> <td>⑥ その他67団体</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>72団体</td> <td>延参加人数</td> <td>11,214人</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>競技種目</td> <td>13種目</td> </tr> </table> <p>(2) 研修会等事業（あしべつ宿泊交流センター）</p> <table border="0"> <tr> <td>① 星槎国際高等学校スクーリング事業(27団体実施)</td> <td>(68泊95日)</td> <td>延参加人数</td> <td>3,165人</td> </tr> <tr> <td>② 北翔大学</td> <td>(3泊4日)</td> <td>延参加人数</td> <td>43人</td> </tr> <tr> <td>③ 帯広畜産大学</td> <td>(1泊2日)</td> <td>延参加人数</td> <td>116人</td> </tr> <tr> <td>④ 北の大地へ会いに行こう</td> <td>(3泊4日)</td> <td>延参加人数</td> <td>183人</td> </tr> <tr> <td>⑤ YOSAKOIワラジ祭り組織委員会学生支部</td> <td>(2泊3日)</td> <td>延参加人数</td> <td>228人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>31団体</td> <td>延参加人数</td> <td>3,735人</td> </tr> </table> <p>(3) 施設修繕</p> <table border="0"> <tr> <td>① 客室カーペット取替修繕</td> <td>653,292円</td> </tr> <tr> <td>② 客室クロス貼替修繕(客室1～19号室)</td> <td>690,120円</td> </tr> <tr> <td>③ 客室クロス貼替修繕(客室22～29号室)</td> <td>395,280円</td> </tr> </table>					① 実業団バレーボールJTマーヴェラス	(12泊13日)	延参加人数	278人	② エスポラーダ北海道	(1泊2日)	延参加人数	40人	③ 北海道バレーボール協会事業(年5回実施)	(19泊24日)	延参加人数	6,171人	④ 北海道大学バドミントン部	(6泊7日)	延参加人数	155人	⑤ 北海道大学武田流中村派合気道部	(5泊6日)	延参加人数	108人	⑥ その他67団体				合計	72団体	延参加人数	11,214人			競技種目	13種目	① 星槎国際高等学校スクーリング事業(27団体実施)	(68泊95日)	延参加人数	3,165人	② 北翔大学	(3泊4日)	延参加人数	43人	③ 帯広畜産大学	(1泊2日)	延参加人数	116人	④ 北の大地へ会いに行こう	(3泊4日)	延参加人数	183人	⑤ YOSAKOIワラジ祭り組織委員会学生支部	(2泊3日)	延参加人数	228人	合計	31団体	延参加人数	3,735人	① 客室カーペット取替修繕	653,292円	② 客室クロス貼替修繕(客室1～19号室)	690,120円	③ 客室クロス貼替修繕(客室22～29号室)	395,280円
① 実業団バレーボールJTマーヴェラス	(12泊13日)	延参加人数	278人																																																																
② エスポラーダ北海道	(1泊2日)	延参加人数	40人																																																																
③ 北海道バレーボール協会事業(年5回実施)	(19泊24日)	延参加人数	6,171人																																																																
④ 北海道大学バドミントン部	(6泊7日)	延参加人数	155人																																																																
⑤ 北海道大学武田流中村派合気道部	(5泊6日)	延参加人数	108人																																																																
⑥ その他67団体																																																																			
合計	72団体	延参加人数	11,214人																																																																
		競技種目	13種目																																																																
① 星槎国際高等学校スクーリング事業(27団体実施)	(68泊95日)	延参加人数	3,165人																																																																
② 北翔大学	(3泊4日)	延参加人数	43人																																																																
③ 帯広畜産大学	(1泊2日)	延参加人数	116人																																																																
④ 北の大地へ会いに行こう	(3泊4日)	延参加人数	183人																																																																
⑤ YOSAKOIワラジ祭り組織委員会学生支部	(2泊3日)	延参加人数	228人																																																																
合計	31団体	延参加人数	3,735人																																																																
① 客室カーペット取替修繕	653,292円																																																																		
② 客室クロス貼替修繕(客室1～19号室)	690,120円																																																																		
③ 客室クロス貼替修繕(客室22～29号室)	395,280円																																																																		

次頁へ続く

< 事務事業評価結果 >

1	市が実施する必要がある事務事業か	A 必要 (2点) B どちらかといえば必要 (1点) C 必要ではない (0点)	A	2点
2	重点事業との関連性	A 重点事業 (2点) B 一般事業 (1点)	A	2点
3	事務事業を休止・廃止した場合の影響は大きい	A 影響は大きい (2点) B 影響は小さい (1点) C 影響はない (0点)	A	2点
4	緊急性	A 緊急性は高い (2点) B 緊急性は低い (1点)	A	2点
5	他の事業との統合や民間委託等はできないか	A 検討の余地はない (2点) B 検討の余地がある (1点) C 可能である (0点)	B	1点
6	コスト削減の余地	A 現状の手法しかない (2点) B 余地がある (1点)	A	2点
計		(10点以上=A、6~9点=B、5点以下=C)	A	11点
総合判定	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> A 継続 B 見直し C 廃止・終了 </div>			
備考	<p>なお、これまで合宿を実施してきた団体の継続的な合宿実施に向けた誘致活動を行うとともに、大型合宿の受入が出来るよう、あしべつ宿泊交流センターに新たな宿泊施設の整備を行う。また、2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けて日本代表チーム・選手、海外チームの合宿誘致に向け情報発信に努めていく。</p>			

款	10 教育費	項	5 保健体育費	目	1 保健体育総務費									
事務事業名	学校保健及び各種検診事業													
決算額(円)	財源内訳(円)													
4,457,966	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源									
				248,400	4,209,566									
事業目的	学校における保健管理及び安全管理を行うことにより、児童生徒及び教職員の健康の保持増進を図り、学校教育の円滑な実施に資する。													
事業内容及び成果	児童生徒及び教職員に対し、学校保健安全法に規定する各健診を実施した。また、日本スポーツ振興センターや全国市長会学校災害賠償保険等に加入することにより、学校内での事故、災害時に備えた。													
	(1) 児童生徒健康診断(内科健診ほか)													
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>人数 (内科健診の人数)</th> <th>委託先</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学校</td> <td>392人</td> <td>① 一般社団法人芦別市医師会 ② 芦別歯科医会</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>215人</td> <td>③ 芦別市薬剤師会</td> </tr> </tbody> </table>					区分	人数 (内科健診の人数)	委託先	小学校	392人	① 一般社団法人芦別市医師会 ② 芦別歯科医会	中学校	215人	③ 芦別市薬剤師会
区分	人数 (内科健診の人数)	委託先												
小学校	392人	① 一般社団法人芦別市医師会 ② 芦別歯科医会												
中学校	215人	③ 芦別市薬剤師会												
	(2) 教職員健康診断(総合健診)													
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>人数</th> <th>委託先</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小中学校</td> <td>56人</td> <td>市立芦別病院</td> </tr> </tbody> </table>					区分	人数	委託先	小中学校	56人	市立芦別病院			
区分	人数	委託先												
小中学校	56人	市立芦別病院												

<事務事業評価結果>

1	市が実施する必要がある事務事業か	A 必要(2点) B どちらかといえば必要(1点) C 必要ではない(0点)	A	2点			
2	重点事業との関連性	A 重点事業(2点) B 一般事業(1点)	B	1点			
3	事務事業を休止・廃止した場合の影響は大きい	A 影響は大きい(2点) B 影響は小さい(1点) C 影響はない(0点)	A	2点			
4	緊急性	A 緊急性は高い(2点) B 緊急性は低い(1点)	B	1点			
5	他の事業との統合や民間委託等はできないか	A 検討の余地はない(2点) B 検討の余地がある(1点) C 可能である(0点)	A	2点			
6	コスト削減の余地	A 現状の手法しかない(2点) B 余地がある(1点)	A	2点			
計		(10点以上=A、6~9点=B、5点以下=C)	A	10点			
総合判定	<table border="0"> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">A 継続</td> <td style="padding: 0 20px;">B 見直し</td> <td style="padding: 0 20px;">C 廃止・終了</td> </tr> </table>				A 継続	B 見直し	C 廃止・終了
A 継続	B 見直し	C 廃止・終了					

款	10 教育費	項	5 保健体育費	目	1 保健体育総務費
事務事業名	体育振興事業				
決算額(円)	財源内訳(円)				
313,500	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源
					313,500
事業目的	児童生徒が健康で安全な学校生活を送るため、必要な習慣や態度を養い、心身の調和的発達を図る。				
事業内容及び成果	小中学校におけるスキー授業に伴い、外部指導者（講師）への謝礼及びスキー道具の運搬に係る費用を負担した。				
	区分	参加校	スキー場利用回数	リフト利用回数	外部指導者（延べ人数）
	スキー授業の状況	3校	15回	延 5,786回	38人

<事務事業評価結果>

1	市が実施する必要がある事務事業か	A 必要(2点) B どちらかといえば必要(1点) C 必要ではない(0点)	A	2点
2	重点事業との関連性	A 重点事業(2点) B 一般事業(1点)	B	1点
3	事務事業を休止・廃止した場合の影響は大きい	A 影響は大きい(2点) B 影響は小さい(1点) C 影響はない(0点)	A	2点
4	緊急性	A 緊急性は高い(2点) B 緊急性は低い(1点)	B	1点
5	他の事業との統合や民間委託等はできないか	A 検討の余地はない(2点) B 検討の余地がある(1点) C 可能である(0点)	A	2点
6	コスト削減の余地	A 現状の手法しかない(2点) B 余地がある(1点)	A	2点
計		(10点以上=A、6~9点=B、5点以下=C)	A	10点
総合判定	<input checked="" type="checkbox"/> A 継続 <input type="checkbox"/> B 見直し <input type="checkbox"/> C 廃止・終了			

款	10 教育費	項	5 保健体育費	目	2 学校プール管理費								
事務事業名	学校プール管理運営業務												
決算額(円)	財 源 内 訳 (円)												
5,465,290	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源								
					5,465,290								
事業目的	児童の健全な育成のため、学校プールの安全で適切な管理運営を行う。												
事業内容及び成果	<p>1 学校プールの安全確保に配慮した管理運営を行った。</p> <p>2 開放期間 平成30年7月3日(火)～8月31日(金) 若葉プール 平成30年7月5日(木)～8月31日(金) 上小プール</p> <p>3 施設修繕関係</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学 校 名</th> <th>金 額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>芦別小学校</td> <td>15,120円</td> </tr> <tr> <td>上芦別小学校</td> <td>411,912円</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>427,032円</td> </tr> </tbody> </table>					学 校 名	金 額	芦別小学校	15,120円	上芦別小学校	411,912円	合 計	427,032円
学 校 名	金 額												
芦別小学校	15,120円												
上芦別小学校	411,912円												
合 計	427,032円												

<事務事業評価結果>

1	市が実施する必要がある事務事業か	A 必要(2点) B どちらかといえば必要(1点) C 必要ではない(0点)	A	2点
2	重点事業との関連性	A 重点事業(2点) B 一般事業(1点)	B	1点
3	事務事業を休止・廃止した場合の影響は大きいか	A 影響は大きい(2点) B 影響は小さい(1点) C 影響はない(0点)	A	2点
4	緊急性	A 緊急性は高い(2点) B 緊急性は低い(1点)	B	1点
5	他の事業との統合や民間委託等はないか	A 検討の余地はない(2点) B 検討の余地がある(1点) C 可能である(0点)	B	1点
6	コスト削減の余地	A 現状の手法しかない(2点) B 余地がある(1点)	B	1点
計		(10点以上=A、6～9点=B、5点以下=C)	B	8点
総合判定	A 継続 B 見直し C 廃止・終了			
備考	施設の老朽化が進んできていることから、適切な施設の維持管理に務めるとともに、今後、施設のあり方について検討する。			

款	10 教育費	項	5 保健体育費	目	3 学校給食費												
事務事業名	学校給食事業																
決算額(円)	財源内訳(円)																
71,267,436	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源												
				37,068,832	34,198,604												
事業目的	<p>1 「学校給食法」に基づき、安全で栄養バランスのとれた食事を提供することにより、児童・生徒の心身の健全な発達に資するとともに、学校給食を通して児童・生徒に日常生活における正しい食習慣と協同の精神を身につけさせる。</p> <p>2 学校給食センター施設の安定した維持管理により、安心、安全な給食の提供をする。</p>																
事業内容及び成果	<p>衛生管理責任者である栄養教諭を中心に、学校給食衛生管理基準に基づく食中毒防止等の管理体制を充実させるとともに、経年により施設・設備等に不具合箇所が発生してきていることから計画的な維持補修を行い、児童・生徒に安心、安全な学校給食を提供した。</p> <p>(1) 実施状況</p> <table border="1" data-bbox="183 810 1058 1034"> <thead> <tr> <th>給食対象校</th> <th>給食数</th> <th>給食の供給日数</th> <th>1日平均(給食数)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学校 2校</td> <td>86,296食</td> <td rowspan="3">209日</td> <td rowspan="3">651食</td> </tr> <tr> <td>中学校 2校</td> <td>49,662食</td> </tr> <tr> <td>合計 4校</td> <td>135,958食</td> </tr> </tbody> </table>					給食対象校	給食数	給食の供給日数	1日平均(給食数)	小学校 2校	86,296食	209日	651食	中学校 2校	49,662食	合計 4校	135,958食
給食対象校	給食数	給食の供給日数	1日平均(給食数)														
小学校 2校	86,296食	209日	651食														
中学校 2校	49,662食																
合計 4校	135,958食																
区分	決算額	給食費内訳															
給食費徴収金で賄う経費	賄材料費	37,127,583円	小学校給食費分 (③=①-②) 89,035食×255円= 22,703,925円① 地震影響による牛乳供給不可分 891食×45円=40,095円② (①-②)=22,663,830円③														
	食品加工委託料	916,666円	中学校給食費分 (⑥=④-⑤) 49,917食×306円= 15,274,602円④ 地震影響による牛乳供給不可分 82食×45円=3,690円⑤ (④-⑤)=15,270,912円⑥														
	計	38,044,249円	合計 (③+⑥) 37,934,742円														
運営費	一般管理費	23,697,648円	公費負担 1食平均 239円09銭														
	燃料費及び光熱水費	9,525,539円															
	計	33,223,187円															
合計	71,267,436円																
※ 給食費内訳の食数は、試食等を含むため、給食対象校の給食数とは一致しない。																	

次項へ続く

(2) 給食業務外部委託状況

- ① 調理業務（主食の米飯とパン）
② 配送業務

(3) 地場産品使用状況

品名	年間使用量	品名	年間使用量
① 米（ななつぼし）	6, 823kg	⑩ ほうれん草	17kg
② 鶏卵	724kg	⑪ ピーマン	68kg
③ 麺類（つるきち小麦）	1, 392kg	⑫ きゅうり	134kg
④ じゃがいも	1, 572kg	⑬ アスパラ	20kg
⑤ にんじん	119kg	⑭ ズッキーニ	8kg
⑥ 玉ねぎ	371kg	⑮ ナス	9kg
⑦ キャベツ	398kg	⑯ 白菜	18kg
⑧ 長ねぎ	151kg	⑰ チンゲン菜	10kg
⑨ だいこん	108kg	⑱ タングロン（90ml）	710本

< 事務事業評価結果 >

1	市が実施する必要がある事務事業か	A 必要（2点） B どちらかといえば必要（1点） C 必要ではない（0点）	A	2点
2	重点事業との関連性	A 重点事業（2点） B 一般事業（1点）	B	1点
3	事務事業を休止・廃止した場合の影響は大きいのか	A 影響は大きい（2点） B 影響は小さい（1点） C 影響はない（0点）	A	2点
4	緊急性	A 緊急性は高い（2点） B 緊急性は低い（1点）	A	2点
5	他の事業との統合や民間委託等はできないか	A 検討の余地はない（2点） B 検討の余地がある（1点） C 可能である（0点）	A	2点
6	コスト削減の余地	A 現状の手法しかない（2点） B 余地がある（1点）	A	2点
計		(10点以上=A、6～9点=B、5点以下=C)	A	11点
総合判定		A 継続	B 見直し	C 廃止・終了

款	10 教育費	項	6 財産造成費	目	1 財産造成費
事務事業名	学校林管理運営事務				
決算額(円)	財 源 内 訳 (円)				
0	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源
事業目的	市内学校の営繕並びに設備に要する資金を造成し、あわせて児童及び生徒の愛林思想の養成並びに林業教育の振興に資することを目的とする。				
事業内容及び成果	学校林の管理運営を行った。				
	学校名	面積	場所		
	芦別小学校	5.3385 h a	黄金町		
	芦別小学校	0.6669 h a	常磐町		
	上芦別小学校	1.1845 h a	滝里町		

< 事務事業評価結果 >

1	市が実施する必要がある事務事業か	A 必要 (2点) B どちらかといえば必要 (1点) C 必要ではない (0点)	B	1点
2	重点事業との関連性	A 重点事業 (2点) B 一般事業 (1点)	B	1点
3	事務事業を休止・廃止した場合の影響は大きい	A 影響は大きい (2点) B 影響は小さい (1点) C 影響はない (0点)	B	1点
4	緊急性	A 緊急性は高い (2点) B 緊急性は低い (1点)	B	1点
5	他の事業との統合や民間委託等はできないか	A 検討の余地はない (2点) B 検討の余地がある (1点) C 可能である (0点)	B	1点
6	コスト削減の余地	A 現状の手法しかない (2点) B 余地がある (1点)	B	1点
計		(10点以上=A、6~9点=B、5点以下=C)	B	6点
総合判定	A 継続 B 見直し C 廃止・終了			
備考	市内学校の営繕並びに設備に要する資金造成を目的に学校林管理運営を実施しているが、管理期間の長期化と木材価格の低迷・伐採事業費の増大により、計画に対する効果が低く、今後廃止を含めた制度見直しを行う。			